

「農山漁村活性化事例集」 (H28)



平成29年1月
九州農政局農村振興部農村計画課

はじめに

農林水産省は、内閣官房とともに「強い農林水産業」、「美しく活力ある農山漁村」の実現のため、農山漁村の有するポテンシャルを引き出すことにより地域の活性化、所得向上に取り組んでいる優良な事例を選定し、全国への発信を通じて他地域への横展開を図る「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」を実施しました。

第3回目となる平成28年度については、全国から769団体(九州からは92団体)の応募があり、平成28年10月17日に30団体(九州から3団体)が「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」として選定されました。

また、九州農政局管内には数多くの優良な地区があることから、九州から応募のあった団体の中から、平成29年1月6日に「H28九州農政局ディスカバー農山漁村(むら)の宝」として、8団体を選定しました。これらを含め管内の応募団体においては、地域資源を生かした多様な取組が展開されており、「美しく伝統ある農山漁村の次世代への継承」、「幅広い分野・地域との連携による農林水産業・農山漁村の再生」、「国内外の新たな需要に即した農林水産業の実現」等に向け、他の地域の取組の参考となるものです。

このため、九州から応募のあった92団体の取組について、このほど「農山漁村活性化事例集(H28)」としてとりまとめ、公表することとしました。九州の各地域において、この事例集も参考にして頂き、地域活性化、所得向上への取組が広まり、加速化していくことを期待します。

九州農政局 農山漁村活性化事例集(H28) 目次

(通番号)	都道府県	市町村	団体名	備考
1	福岡県	北九州市	箸休め ゆず香	
2	福岡県	久留米市	城島町土地改良区	「ディスカバーむらの宝(第3回)」に選定
3	福岡県	八女市	星野村農産加工施設「星の里」利用組合	
4	福岡県	八女市	がんばりよるよ星野村	
5	福岡県	八女市	八女地域連携協議会	「H28九州農政局むらの宝」に選定
6	福岡県	豊前市	枝川内あじさい祭り実行委員会	
7	福岡県	福津市	あんずの里市利用組合	
8	福岡県	うきは市	つづら棚田を守る会	
9	佐賀県	唐津市	蕨野集落	
10	佐賀県	多久市	社会福祉法人もやいの会	「H28九州農政局むらの宝」に選定
11	佐賀県	多久市	ひらの棚田米振興協議会	
12	佐賀県	伊万里市	波多津町まちづくり運営協議会	
13	佐賀県	鹿島市	北鹿島ふるさと会	
14	佐賀県	小城市	江里山棚田米生産組合	
15	佐賀県	嬉野市	嬉野温泉湯どうふ振興協議会	
16	佐賀県	神埼市	神埼和菱組合	
17	佐賀県	白石町	川津資源保全隊	
18	長崎県	長崎市	高島町ブルーツーリズム促進協議会	
19	長崎県	佐世保市 西海市	大宮・西海食の交流促進協議会	
20	長崎県	諫早市	社会福祉法人じゅもん会	
21	長崎県	大村市	株式会社ふれあいファーム(農業生産法人)	
22	長崎県	大村市	有限会社 シュシュ	「H28九州農政局むらの宝」に選定
23	長崎県	平戸市	度島観光漁業推進グループ「海散歩」	
24	長崎県	平戸市	根獅子集落機能再編協議会	
25	長崎県	対馬市	峰東女性部キッチン	
26	長崎県	壱岐市	箱崎漁業協同組合	
27	長崎県	五島市	地のもん工房 増栄丸	
28	長崎県	南島原市	有家にとまろう会	
29	長崎県	南島原市	一般社団法人 南島原ひまわり観光協会	「H28九州農政局むらの宝」に選定
30	長崎県	長与町	長与浦再生活動組織	
31	長崎県	波佐見町	波佐見東地域集落活性化協議会	
32	長崎県	新上五島町	郷土料理研究会	
33	熊本県	熊本市	(有)北部農園 北部肥料	

(通番号)	都道府県	市町村	団体名	備考
34	熊本県	熊本市	天明環境保全隊	
35	熊本県	熊本市	NPO法人 くまもと障がい者就労支援ネットワーク	
36	熊本県	八代市	やつしろ菜の花ファーム987	「H28九州農政局むらの宝」に選定
37	熊本県	八代市	五家荘宿の会	
38	熊本県	水俣市	水俣市久木野地域振興会	
39	熊本県	菊池市	NPO法人きらり水源村	
40	熊本県	上天草市	老岳集落	
41	熊本県	阿蘇市	公益財団法人 阿蘇グリーンストック	
42	熊本県	合志市	一般社団法人合志農業活力基金	
43	熊本県	合志市	「合志あぐっと！村」運営協議会	
44	熊本県	美里町	水上迫生活研究グループ	
45	熊本県	玉東町	玉東町商工会	
46	熊本県	大津町	真木地区協議会	
47	熊本県	菊陽町	株式会社 熊本玄米研究所	
48	熊本県	高森町	阿蘇南郷檜ブランド化推進協議会	
49	熊本県	高森町	ひごむらさきブランド化研究会	
50	熊本県	甲佐町	パワフル母ちゃん	
51	熊本県	山都町	NPO法人 山都のやまんまの会	
52	熊本県	山都町	水増ソーラーパーク管理組合	
53	熊本県	多良木町	多良木町	
54	熊本県	湯前町	国産材品質表示推進協議会 SSDプロジェクト	
55	熊本県	湯前町	幸野溝土地改良区	
56	熊本県	球磨村	田舎の体験交流館さんがうら運営委員会	
57	熊本県	あさぎり町	中山間松尾集落	
58	熊本県	芦北町	みどりの会	
59	大分県	国東半島 宇佐地域	国東半島宇佐地域世界農業遺産推進協議会	
60	大分県	日田市	大明工区資源保全組合	
61	大分県	佐伯市	進水式を推進する会	
62	大分県	臼杵市	うすきツーリズム活性化協議会	
63	大分県	臼杵市	栗手原資源保全推進協議会	
64	大分県	豊後高田市	豊後高田市グリーンツーリズム推進協議会	
65	大分県	宇佐市	西大堀地区農地・水・環境保全組合	
66	大分県	宇佐市	下森山環境保全組合	
67	大分県	宇佐市	NPO法人安心院町グリーンツーリズム研究会	「ディスカバーむらの宝(第3回)」に選定
68	大分県	宇佐市	株式会社生活工房とうがらし	「H28九州農政局むらの宝」に選定

(通番号)	都道府県	市町村	団体名	備考
69	大分県	宇佐市	深見地区まちづくり協議会	
70	大分県	豊後大野市	大野町みどり保全隊農地・水・環境保全管理協定運営委員会	
71	大分県	国東市	地域起こし協議会 文溪里の会	
72	大分県	九重町	千町無田資源保全組合	
73	宮崎県	都城市	有限会社 徳重紅梅園	
74	宮崎県	日向市	財光寺農業小学校	
75	宮崎県	串間市	笠祇地区	
76	宮崎県	高鍋町	四季彩のむら	
77	宮崎県	高鍋町	染ヶ岡地区環境保全協議会	
78	宮崎県	川南町	チームがはは	
79	宮崎県	高千穂町	高千穂町農産物加工連携会議(Tーキッチン)	
80	宮崎県	高千穂町	高千穂ムラたび協議会	「ディスカバーむらの宝(第3回)」に選定
81	宮崎県	五ヶ瀬町	特定非営利活動法人 五ヶ瀬自然学校	「H28九州農政局むらの宝」に選定
82	鹿児島県	鹿児島市	特定非営利活動法人鹿児島県有機農業協会	
83	鹿児島県	阿久根市	折多校区の自然を守る会	
84	鹿児島県	薩摩川内市	薩摩川内市グリーン・ツーリズム推進協議会	
85	鹿児島県	霧島市	佳例川地区自治公民館	
86	鹿児島県	いちき串木野市	萩元前団地環境保全会	
87	鹿児島県	南さつま市	特定非営利活動法人エコ・リンク・アソシエーション	「H28九州農政局むらの宝」に選定
88	鹿児島県	南九州市	田部田をまもり隊	
89	鹿児島県	さつま町	中津川区むらづくり委員会	
90	鹿児島県	屋久島町	株式会社 屋久島宮之浦加工グループ	
91	鹿児島県	屋久島町	有限会社 キャノッピ屋久島	
92	鹿児島県	喜界町	喜界町生活研究グループ連絡協議会・合同会社 喜界島 結い	

福岡県	8
佐賀県	9
長崎県	15
熊本県	26
大分県	14
宮崎県	9
鹿児島県	11
合 計	92

1 福岡県 北九州市

はしやす か 箸休め ゆず香

収穫されないユズでの地域興し



焼酎に合わせた“箸休め ゆず香”



小倉駅コンコースの売り場



“箸休め ゆず香”3種

取組概要

- ユズ収穫による地域興しと里山の整備を期待し、長期保存可能な特産品を開発。食べ継がれた味を「箸休め ゆず香」と名付けて製造。
- 日本で唯一の加工品のため、食べ方やいわれを示した和英の葉も付け、海外からの訪問者にも対応。
- 平尾台自然の郷、合馬農産物直売所などのほか、JR新幹線小倉駅コンコースや北九州空港等でも販売。H27年は約1400個販売。

活動成果

- 収穫されないユズを加工し特産品に。地元有名店や近郊の駅・空港で販売。高級なお土産や贈答品として、地域の観光振興につながっている。
- 農家からは傷のあるユズも高価で買い取ってもらえると喜ばれている。
- 「日本で唯一のユズのおつまみ 平尾台特産／箸休め ゆず香」というブランドの浸透で、自然豊かな平尾台・三谷地区へ観光客が増えている。

箸休め ゆず香

福岡県北九州市小倉南区志井鷹羽台25-6

Tel : 093-961-5273 Fax : 同左

2 福岡県 久留米市

「ディスカバーむらの宝(第3回)」に選定

じょうじままち

城島町土地改良区

蘇る酒どころ城島、豊かな環境を次世代へ繋ぐ城島



「城島酒蔵びらき」で出品された地酒の数々



「城島酒蔵びらき」



EM城島培養液で浄化運動

取組概要

- 酒米の山田錦は、田んぼの水管理が重要。平成24年度から水位調整可能な暗渠排水工事(フォアス)に着手。
- 「水質浄化作戦」と題して、良質な農業用水確保を目指し、城島EM培養液を町内の水路・川・家庭排水等へ投入。
- 全国でも珍しい多数の酒蔵が参加する『城島酒蔵びらき』では、酒蔵・酒造会社と連携し、地酒のPRを積極的に推進。

活動成果

- 暗渠排水事業により、水位の管理調整や湿田の解消等が出来るようになり、酒米の品質・収量向上が図られる。
- 暗渠排水を整備したほ場から採れた酒米は、品質が良好で、酒製造会社からも高い評価。
- 環境保全活動として、草刈り、植栽等による景観形成や水路へのEM城島培養液の投入等による水質浄化への取組により年々悪臭・蚊が減少。

城島町土地改良区

福岡県久留米市城島町檜津743番地2

Tel : 0942-62-2100 Fax : 0942-62-3732

3 福岡県 八女市

ほしのむら

ほしのさと

星野村農産加工施設「星の里」利用組合

ほし野菜のおにぎりと味噌汁は美味しかよ～



グッドデザインに輝いた「ほしのほし野菜」



幼稚園や小・中学校を対象に食育



「ほしのほし野菜」の加工

取組概要

- 平成23年に「ほしのほし野菜(ナス、玉ねぎ、カボチャ等)」を開発。女性が活躍できる地域づくりを目指す。最近では野草(ドクダミ、ヨモギ等)の加工も始める。
- 新商品開発として、ほし野菜の粉末を研究。「離乳食に使っている」との話もあり、流動食として使えないか試作中。
- 食育として、地元の中学生の味噌づくり体験に取り組む。口コミで広がり、今では園児から大人まで体験。

活動成果

- 高齢者の知恵を生かす活動の場が出来た。原材料の生産拡大と当組合員が増加した。
- 地元の園児から中学生まで味噌作りを体験。その味噌を通し、野菜を使った味噌汁・おにぎりを食べることが楽しみとなっている。
- テレビやラジオの取材を受けることで、商品の宣伝になり売上げも増加。星野村への来村者も増えている。

星野村農産加工施設「星の里」利用組合
福岡県八女市星野村4540

Tel : 0943-52-2204 Fax : 0943-52-2214

4 福岡県 八女市

ほしのむら がんばりよるよ星野村

都市との協働で災害復旧から地域復興へ！



棚田維持活動 災害から3年目の稲刈り



大都市圏で出張販売



豪雨災害で流入した土砂の撤去

取組概要

- 平成24年の九州北部豪雨の災害ボランティアセンターとして活動。
- 平成26年度から、農山村地域でのCSR活動に興味のある県内11の企業、社団法人、大学等と5年間の協定を結び協働活動を実施。
- 農林作業の支援、棚田米の定期購入や農林産物の出張販売、地域イベントの共同開催、災害復旧などで協働。

活動成果

- 農作業支援は、高齢化で草刈等が出来ない地域で環境や景観、多面的機能などの保全に大きな効果があった。また、社員の団結にも繋がった。
- 農林産物の定期購入や都市部へのお出張販売は、農家の安定収入に繋がるとともに、企業の社員等は新鮮で安全安心な農林産物の購入を喜んでいる。
- イベントの共同開催による都市住民との交流が地域活性化につながっている。

NPO法人がんばりよるよ星野村
福岡県八女市星野村13102-1

Tel : 0943-24-8353 Fax : 0943-24-8383

5 福岡県 八女市

「H28九州農政局むらの宝」に選定

やめ 八女地域連携協議会

旅する茶のくに～地域を活かした交流事業～



茶のくにツアーバスとガイド 矢部村の紅葉



おひつづくり体験



アンテナショップ内観光案内ブース

取組概要

- 平成25年に第3種国内旅行業を取得し、八女独自の着地型旅行商品の企画販売が可能となり、プログラム開発に着手。
- 食や観光、農業体験、伝統工芸技術体験を活用した旅行商品を企画実施(58プログラム)。
- 福岡市中心部に開設したアンテナショップ八女本舗で、農産物の直売と併せ情報発信基地として着地型旅行商品の募集販売を実施。

活動成果

- アンテナショップでは、農産品・加工品の直売により、農業者の生産意欲と所得増加に貢献。旅行商品販売や観光PRなど情報発信基地としても大きな役割を果たしている。
- 年間を通じた体験プログラム、観光ツアーを企画し募集。都市部からの観光客の増加につながっている。
- 八女人ガイド(現地案内人)という新たな地域ツーリズムビジネスになっている。

八女地域連携協議会(茶のくに観光案内所)

福岡県八女市本町2-129

Tel : 0943-23-1192 Fax : 0943-22-7311

6 福岡県 豊前市

えだがわうち

枝川内あじさい祭り実行委員会

ちいさな村の大きな挑戦！
日本一のアジサイランド【枝川内あじさい祭り】



1万5千本のあじさいが咲き乱れる枝川内地区風景



祭り期間中のあじさい見学



多くの来訪者で賑わう祭り会場

取組概要

- あじさいの増植は、中山間直払等を活用し、参加者を募り都市住民と交流。
- あじさい祭りでは、集落の農産物、特産物を販売。新たな特産品として「求菩提そば」のそば打ちの実演・販売や地域の米を「あじさい米」として予約販売。
- 地区農家の販売、木工展示、都市部から参加するリサイクルマーケットなどもあり、祭りが盛大に開催。

活動成果

- あじさい祭りの来訪者へ、岩屋地域を情報発信することで、観光客が急増。地域観光産業へ大きな経済効果となっている。
- 祭りで、そば打ちの実演やそば団子汁を提供することにより、新たな特産品「求菩提そば」の販売も伸びている。
- さらに、あじさい米を提供することで、新たな消費者の発掘につながり、営農組合の米販売が増加している。

枝川内あじさい祭り実行委員会
福岡県豊前市大字大河内301-3

Tel : 0979-88-2002 Fax : 同左

7 福岡県 福津市

さといち

あんずの里市利用組合

「津屋崎地区」元気のバロメーター！



「あんず祭り」のイベント



スーパーマーケット跡にて、毎週・出張買い物支援

取組概要

- 専門家による売場、運営等の内部調査や、利用者等のニーズ調査を行うとともに、イベントPR等を通じて外部から意見を取入れ、運営を改善。
- 学校給食や地域のレストラン等へ食材を提供。また毎週水曜日にスーパーマーケット跡地で出張販売を行うなど、生活支援も実施。
- 長野県松本市の道の駅と交流。野菜や果物の商品の補完を行う。また、うきは市とも連携を図り、巨峰や桃を販売。

活動成果

- イベントを開催することで、地元農産物を活用した商品が求められていることを確認。学校給食への供給量が増加。レストラン等にあんずの実や地元野菜を使ったお菓子も販売している。
- 消費者のニーズに合った店舗のレイアウトができ、福岡市や北九州市からのお客が増え好評を得ている。
- 売上増加と共に、それを生産者に還元できるようになり、意欲の向上につながっている。

あんずの里市利用組合

福岡県福津市勝浦1667-1

Tel : 0940-52-5995

Fax : 0940-52-5999

つづら棚田を守る会

棚田を守るプロフェッショナル！！



棚田のお月見会



畦塗り作業



稲刈り作業

取組概要

- つづら棚田約6haのうち、耕作することの出来ない方の約1.1haの棚田を引き受け、つづら棚田の景観を保全。
- 平成24年九州北部豪雨災害時には、棚田オーナーやボランティアの協力の下、土砂の撤去や石垣の復旧等を実施。
- 9月に実施の「彼岸花めぐり&ばさら祭り」では、毎年1万人以上が参加。10月に行う「棚田のお月見会」では、2000個のライトで棚田をライトアップし、棚田米、地元農産物、蕎麦をふるまう。

活動成果

- 耕作放棄地になりそうな田を借り受け、耕作することによって、つづら棚田の景観を保全。彼岸花の時期をはじめ年間を通じて多くの方が足を運んでいる。
- 彼岸花の植栽活動により、豪雨災害で流されたところの彼岸花は徐々に復活している。
- お月見会で棚田米や農産物をふるまうことで、棚田の食のファンが増えており、直売所に出すとすぐに売り切れるほどとなっている。

つづら棚田を守る会事務局 うきは市役所うきはブランド推進課

福岡県うきは市浮羽町朝田582-1

Tel : 0943-76-9059 Fax : 0943-77-5557

9 佐賀県 唐津市

わらびの

蕨野集落

先人が残した貴重な宝(棚田)を未来につなぐために



日本の棚田百選「蕨野の棚田」景観



ブランド米「棚田米蕨野」



棚田米せんべい

取組概要

- 耕作放棄地の再生を目的に、佐賀大学と棚田援農隊を結成し、約8,500㎡を復田。さらに企業等の協力を得て、石積みや畦畔の草刈活動を実施。
- ブランド米「棚田米蕨野」として生産・販売。直売所では、棚田米や棚田米せんべい、米サイダーを販売。
- 「早苗と棚田ウォーク」、「ふるさとの灯りコンサート」などのイベントを開催し、都市住民と交流。

活動成果

- イベントに多くの都市住民が訪れたことで、蕨野の棚田ファンが多くなり、「棚田米蕨野」の売上が増加している。
- イベント時に、直売所女性会員の手作りによる、さつま芋の菓子やコロケなどを販売することで、高齢者の活躍の場や都市住民とのふれあいが生まれた。
- 安全安心な棚田米を供給するため、減農薬・減化学肥料栽培に積極的に取り組むなど、自然環境に配慮した営農が展開されるようになった。

社会福祉法人もやいの会

障がい者の働きたいをカタチに — トマト工場



台車にのり、座って収穫作業



選果作業に従事する利用者



トマトシホンケーキづくり

取組概要

- 環境に優しい「農と食」をテーマとして、ミディ・トマトの養液栽培と焼き菓子を製造。トマト栽培は、職業指導員の指導の下、収穫、選果とも障がい者が従事。
- ミディ・トマトは、月に約3トンを生産。地域スーパー、産直市場、大型スーパーの食品売場へ出荷。
- 出荷不能品(割れ、ヒビ)を活用し、菓子工房でシホンケーキを製造。トマトの乾燥、製品の包装は障がい者が従事。

活動成果

- イベントを行い、毎回500人を超す地元の方々に農の楽しみを味わっていただいている。
- トマト溶液栽培を採用したことで就労継続支援A型の10人には、佐賀県の最低賃金の時給を支払うことが出来た。
- 就労継続支援B型の利用者13人には、菓子工房の収益ほか、学校敷地の清掃を多久市から請負うなどで、工賃を支払っている。

11 佐賀県 多久市

ひらの棚田米振興協議会

～孔子の流れは棚田に注ぐ賢い子供の棚田米～



試食販売キャンペーン



稲刈り体験イベント



体験後棚田で食する新米おにぎり

取組概要

- 「ひらの棚田米」として直売所、市内飲食店及びインターネットで販売。2kg袋・3kg袋・5kg袋、進物用の自由袋(2kg～4kg袋)を販売。
- 化学肥料を減らす取組として、稲刈り後の水田にレンゲ草の種を共同でまき、春のレンゲ草が開花してから水田にすき込み、元肥として活用。
- 棚田米の収穫時期に「ひらの棚田の稲刈り体験と散策」を開催し、都市住民との交流を実施。

活動成果

- 棚田米は、美味しいので一度食べたらリピーターが増え、毎年売り上げが増加。インターネット注文も毎年増加中。
- 棚田米が、多久市ふるさと納税の返礼品の対象に。また、プレミアム商品券やイベント等の景品にもなっている。
- 「ひらの棚田の稲刈り体験と散策」イベントも好評。都市住民との交流に伴い、ひらの棚田米を広く知ってもらうことができ、地域の活性化に繋がっている。

ひらの棚田米振興協議会事務局
佐賀県多久市北多久町大字小侍2番地35

Tel : 090-2513-2076 Fax : 0952-75-5729
Eメール: kozono1022@yahoo.co.jp
URL <http://www.hirano-tanada.com/>

12 佐賀県 伊万里市

は た つ ち ょ う

波多津町まちづくり運営協議会

豊かな大地と海を活かし、新たな価値を創る



BBQ波多津の海の幸・山の幸



波多津みなと祭り



波多津ウォーク

取組概要

- 豊かな自然の中で培われた特性や資源を活かし、地域の活力を育み、新たな価値を創ることを目指している。
- 地域農畜水産物のPR・販売拠点「波多津ふれあい広場」の整備・活用。
- 消費者交流イベント「波多津みなと祭り」を開催。豊かな自然と歴史的価値を活かした観光資源「あぐり山公園」を整備。参加型地域発信イベント「波多津ウォーク」を開催。

活動成果

- 波多津ふれあい広場での、海鮮・伊万里牛バーベキュー、塩焼き体験や波多津みなと祭り等のイベントは、住民同士の絆を深め、交流人口の拡大に貢献している。
- 住民が主体となって、様々な事業を重ねるごとに、地域のまちづくり活動の機運が町民全体に浸透してきている。
- 地域開発商品「波浦の塩」は、豊富なミネラルを含んだまろやかな味が自慢。地域ブランド商品として注目されている。

波多津公民館

佐賀県伊万里市波多津町辻1080番地

Tel : 0955-25-0001 Fax : 0955-25-1140

13 佐賀県 鹿島市

きたかしま 北鹿島ふるさと会

故郷の農村環境は ふるさとで守ろう



「柳瀬水道」の清掃活動



地域の農道の補修



生徒、PTA、地域と合同の田植

取組概要

- 地域の農業は、歴史のある「柳瀬水道」の水を利用しており、農地・水路・道路等の保安全管理活動や施設の長寿命化の活動と併せて、「柳瀬水道」の整備を重要課題として活動。
- 農村環境保全活動として、花植えや野鳥観察会、クリークへのEM菌投入や山林の下草刈り等に取り組む。
- 子供たちは、「田んぼの学校」での米作りを通し、その大変さ、ありがたさを体験。

活動成果

- 会の活動を通じて、農地等の適切な維持管理と併せて、話し合いが増えたことで効率的な水利用にも役立っている。
- 「柳瀬水道」を維持管理していくために歴史ある地域資源として体験学習を行うことにより、次世代へ伝えていこうという意識が高まっている。
- 「田んぼの学校」の実施により、子供たちの体験活動のほか、農業者も伝統農法の大切さを再認識し、保護者や地域住民との交流にもつながっている。

北鹿島ふるさと会

佐賀県鹿島市大字山浦甲1564-2

Tel : 0954-63-2853 Fax : 0954-62-5087

14 佐賀県 小城市

えりやまたなだまい

江里山棚田米生産組合

江里山棚田米生産組合



棚田と彼岸花のコントラスト



彼岸花祭りで都市住民と交流



イベントで棚田米販売

取組概要

- 毎年「秋分の日」に彼岸花祭りを開催し、蕎麦、野菜、棚田米等を販売しPR。また、コンサートやかかしフェスティバルを通じて都市住民と交流。
- 棚田米をブランド化し販売を拡大。県の特別栽培米に認定。また農業倉庫、低温貯蔵庫、精米機、色選機を導入し品質管理。
- 中山間等直接支払交付金を活用し田植機を購入。多面的機能支払交付金を活用し、農地、水路、農道の維持管理を行い、高齢者のサポート体制を構築。

活動成果

- 県指定の特別栽培米生産に取り組んだことが、江里山特産の棚田米のブランド化につながった。
- 安全安心のお米を提供するために、菜の花のすき込みによる緑肥を使用し、化学肥料を低減。この結果、デパートやホテル等へ販路が拡大している。
- 中山間直接支払制度等を活用し、農道や水路等地域資源を適切に保全管理することで、農業用機械が利用可能となっている。

江里山棚田米生産組合

佐賀県小城市小城町岩蔵4844

Tel : 0952-72-4677

15 佐賀県 嬉野市

うれしのおんせん

嬉野温泉湯どうふ振興協議会

嬉野名物「嬉野温泉湯どうふ」



飲食店で出している温泉湯豆腐



湯どうふパッケージ統一



湯どうふフェスタ

取組概要

- 「嬉野温泉湯どうふ」を商標登録(平成19年9月14日)。大豆は市内の集落営農組合・全農・商社との契約栽培。嬉野産大豆を100%使用し、添加物は使用しない豆腐を製造。嬉野温泉の各旅館や飲食店で温泉湯どうふが提供。
- 各家庭でも楽しめるセット商品を全国発送。
- 温泉湯どうふや揚げ豆腐を食してもらうイベントとして、秋祭り時に「嬉野温泉湯どうふフェスタ」を開催。

活動成果

- 嬉野産大豆を100%使用した安全・安心な豆腐を製造することで、嬉野温泉の各旅館や飲食店で「嬉野温泉湯どうふ」が地産地消として定着している。
- 嬉野温泉の食文化に立った商品開発を進めたことにより、古来より食されていた湯豆腐が「嬉野温泉湯どうふ」として確立された。
- 今年で15回目になる「湯どうふフェスタ」もPRイベントとして定着。豆腐のパッケージ統一等により消費者が安心して購入できるようになっている。

嬉野温泉湯どうふ振興協議会

佐賀県嬉野市嬉野町大字下宿乙2202-55 Tel : 0954-43-0137 Fax : 0954-42-0361

かんざきわびし

神埼和菱組合

地域と産・学・官が紡ぐ菱の里



秋の風物詩「菱の実採り」



本格和菱焼酎



ひしぼうろ

取組概要

- 菱の実の採取体験を推進。秋の風物詩である菱の実採りを後世に継承することを目指す。
- 自生和菱を採取し製粉加工した原料を使った和菱焼酎が完成。焼酎の原料製造過程で出る菱の皮を使った菓子「ひしぼうろ」を開発。
- 自生菱の確保に加え、管理作業の容易な水田栽培を年々拡大。菱の生産・加工・販売を一貫して行う6次産業化に向けた組織として積極的に活動。

活動成果

- 昔は菱の実採りが秋の風物詩であり、この埋もれつつある宝を活用したいとの思いから、本格和菱焼酎が誕生した。
- 産学官連携で商品開発し「ひしぼうろ」誕生。この商品開発に伴い、菱の栽培が拡大している。
- 菱外皮の高い抗酸化作用で特許を取得し、菱茶や化粧品等の新たな商品開発に取り組むなど、生産・加工・販売を一貫して行うことにより、地域の雇用と所得向上につながっている。

17 佐賀県 白石町

かわづしげんほぜんたい 川津資源保全隊

40年ぶりに蘇った地区の宝「縫ノ池」



取組概要

- 縫ノ池や水路の除草及び泥あげ等を定期的に実施。また、縫ノ池を中心に地区の美化活動も。湧水復活により魚たちも戻り、毎年大人から子供まで参加する生き物調査を実施。
- 農村特有の景観保全や特別栽培による環境に配慮した生産活動を行い、安全・安心な地域農産物を提供。
- 夏には「キャンドルナイト」、「縫ノ池魚釣り大会」、秋には「お茶会」を開催し、都市住民と交流。

活動成果

- 地区の貴重な宝である「縫ノ池」の湧水の復活に地域住民が感動し、水の大切さを再認識するなど資源保全の意識が高まった。
- 安全・安心な農作物を生産・販売することで、自然環境に配慮した農業が展開されている。
- 環境保全を目的とした多様なイベントを開催した結果、都市住民との交流が盛んになり、地域活性化が図られた。

川津資源保全隊(事務局)

佐賀県杵島郡白石町大字湯崎2402番地

Tel : 0952-84-4130

Fax : 同左

たかしまち

高島町ブルーツーリズム促進協議会

医療と福祉の限界を「農」で超える挑戦



シュノーケリング体験



ポールウォーキング体験



福祉農園農作業体験

取組概要

- 自然景観を生かした体験メニューとしてシュノーケリングピクニック(商標登録)等の創造に取り組む。5月から10月まで完全予約制。40名が受け入れ可能。
- 健康で活動的な高齢者が増えている昨今、地域で楽しみながら暮らせる環境が整備されていれば、人口の流出を止める事が可能では、との思いから福祉農園の開発に着手。
- 収穫イベントの開催やサラダバーの開設が好評。

活動成果

- 地域資源(人・産業遺産・自然遺産・食等)に気付き、活用方法に関して知恵を出し合い、活性化のための人材育成の基本的構造ができた。
- 都市部の旅行会社との連携や、大学ゼミ生の受入(ゼミの学習内容の中核は観光)が推進された。
- 要介護になるまでの時間を伸ばすための様々な取組により、目に見えない部分の経済効果が発揮されている。

高島町ブルーツーリズム促進協議会
長崎県長崎市高島町2707番地12

Tel :095-896-3510 Fax : 同左

おおみや・さいかい

大宮・西海食の交流促進協議会

食を通じて二つの地域を繋げ問題解決



佐世保市内・島瀬公園でのマルシェ



東京都内・戸越銀座でのマルシェ



試食会の食事

取組概要

- 佐世保市大宮地区の高齢者等の買い物弱者対策として、福祉団体と連携・共同し宅配等を支援。また西海市西海地区への流通・消費の拡大により農業が活性化。
- 西海の産物を広めるため、西海市・佐世保市・東京都内でのマルシェに参加し販売を促進。
- 現地の作物がどのようにして出来るか、農村風景等も消費者に見て頂くためのモニターツアーを開催。

活動成果

- 試食会を開催し、消費者の惣菜に関する動向を把握し、新商品の開発につながった。
- 西海に対する佐世保市の住民のイメージもわかり、今後の広報活動のヒントとなった。
- マルシェへの参加や開催により、交流人口の増加につながった。また地域によってお客様の求めるものが異なることと同時に、西海の農産物が十分に評価されていることもわかった。

大宮・西海食の交流促進協議会
長崎県西海市西海町横瀬郷3550-3

Tel :0959-32-2345 Fax :0959-29-4121

社会福祉法人じゅもん会

熱中症対策は福祉農園の社会貢献から



福祉農園温室内部



パッションフルーツの緑のカーテン



パッションフルーツの緑のカーテン

取組概要

- 身体障がい者の通行や作業に支障のない環境づくりとして、通路部をアスファルトとし、スロープも敷設。
- 室内の温度管理の自動化と、冬場の対策となるカーテン整備等により、苗の育成や歩留まりが向上し、安定生産が可能となった。
- 温度管理の自動化により、パッションフルーツ苗の年末出荷が可能となり、消費者への普及拡大や家庭栽培への提供も推進。

活動成果

- 地域の方々への販売促進体制の構築と、有機栽培や無農薬野菜の育苗・育成活動に関する情報発信ができた。
- パッケージデザインの実施や、福祉団体の販売イベントに参加に伴い、障がい者の農業分野における就労について問合せが寄せられるようになった。
- 福祉から就労という流れに向けて、農業分野での農産物の育成・栽培による自立支援面や工賃向上に一定の成果があった。

社会福祉法人じゅもん会

長崎県諫早市小船越町680-1

Tel :0957-25-3300 Fax :0957-25-3233

株式会社ふれあいファーム(農業生産法人)

自分の持っているすばらしい力をイキイキと活かせる場所！



選果出荷作業をしている障がい者



小学生による収穫体験



農業経営がある高齢者の活躍

取組概要

- 市内の障がい者支援施設に作業委託をして障がい者の活動と就労の場を目的に活動。現在28名の障がい者が作業を行い、ホウレン草10t、トマト40tを生産販売。
- 高齢農業者が、障がい者に対し、管理、収穫、生育を教えながら作業することで生き生きと活躍。
- 障がい者福祉と農業のふれあい活動には、地域の子供達や学生が楽しみながら園芸ボランティアに携わっている。

活動成果

- 自分たちが育てている野菜の成長に、障がい者はやりがいと自負を持ちながら作業している。
- 障がい者は、この活動によって経済的に自立につながり、グループホームなどで生活することが可能となった。
- 福祉からの農業への参加においては、障がい者がボランティアに作業を教えている場面もあり、そのような効果を授業に取り入れてる学校も出てきて、障がい者の活動に理解が広がっている。

株式会社ふれあいファーム
長崎県大村市富の原2-424-35

Tel :0957-47-8335 Fax :0957-47-8336

有限会社 シュシュ

農業エンターテインメント！日本一の直売所



取組概要

- 夢ファームシュシュは、直売所甲子園2015に於いて優勝。生産者170戸からとれたての新鮮な野菜や果物が届く。生鮮品だけでなく、惣菜やオリジナル加工食品も豊富に品揃え。
- 地元産の材料を使った、季節感あふれるジェラート、パン、スイーツが大人気。
- ガラス温室の天井をぶどう棚で覆ったレストラン。お昼のランチバイキングは地元食材を使用。夜は焼肉レストランで、ブライダルや法要など幅広く活用。

活動成果

- 2008年に開設した農産物加工場では、大村特産の黒田五寸人参や果実等の1次産品をジュース、ジャム等に2次加工して販売。規格外農産物の有効利用につながっている。
- 店内販売に加えインターネット販売、贈答品需要も年々増加。ふるさと納税の返礼商品にも活用され大好評。
- 農産物直売所へ出荷や6次産業化の確立により、農家所得の向上や後継者育成の面でも大きな成果が見られる。

たくま

うみさんぽ

度島観光漁業推進グループ「海散歩」

観光漁業で漁業の島を元気に！
～副業としてのダイビング案内業～



ダイビング客への対応状況



イカ釣り漁業体験



小学生団体の受入状況

取組概要

- 現在の業態はダイビング案内業。度島を訪れたダイビング客等を、船舶でダイビングスポットへ案内し、安全監視用務を行う。
- 潜水用エアタンクのレンタルにも対応。さらに追加料金で、民泊、食事、お土産等のオプションも付加。
- 平戸観光協会、平戸市観光課と連携し離島体験観光(日帰りキャンプ方式で磯遊び、海水浴等)を実施。毎年、数十人から百人近い子供たちが団体で来島。

活動成果

- ダイビング観光により、収入が安定。さらに、離島体験観光により、島内で新たな収入を得る場が創出されている。
- ダイビング観光は、本業である漁業等の副業として実施しているが、専門的に取り組めば更なる収入も見込まれ、島内での就業の場として期待される。
- 観光本やホームページで観光のメニューとして掲載。来島客の島内泊とフェリー等渡海船の利用増による地域経済に大きく貢献している。

ね し こ

根獅子集落機能再編協議会

根獅子発！小さな集落の小さな循環型プロジェクト



食モニターツアー「郷土料理バイキング」



「ねしこ食まつりシンポ」



平戸特産品使用「おせち」

取組概要

- 都市住民・大学生・海外高校生の農業体験学習の受け入れ、棚田オーナー制度等都市住民等との交流から持続性のあるまちづくりを推進。
- 世界農業遺産候補地「平戸の聖地と集落」の文化的景観を活用し、郷土食まつり、郷土食モニター事業等を開催。
- 自然農法栽培ねしこビワの販売や、棚田米オリジナル純米酒を醸造。食まつりや食モニターでおせち料理の注文が増加するなど、女性の就労の場に。

活動成果

- 荒廃農地を再生・活用し、田植えや稲刈り、芋差し等の体験学習を推進したことで、生産と収入増加につながった。
- 都市住民の往来が増え、産物の販売額も増加。海外及び国内児童・生徒たちの体験学習の場としての要請が増加。
- 視察や研修受入の実施等により、地域や特産品の知名度が上がり、ブランド化の動きが出てきた。また郷土食の活用により、女性の活躍の場が広がり、町全体が元気になった。

みねひがし

峰東女性部キッチン

対馬の魚ば子供たちに食べてもらうばい！



峰山東部漁協女性部キッチンのメンバー



簡易水産加工場内部



水産加工品の一部

取組概要

- 平成22年4月1日より漁協女性部員による峰東女性部キッチンが発足。地元定置網で漁獲された魚介類を原料とした給食用水産加工の製造・販売を開始。
- 当初の仕向け先は地元峰町内の小中学校だけであったが、品質の確かさが認められ、現在是对馬市内の全学校の給食や保育所でも採用。
- 平成24年には、磯やけの一因とされているアイゴを食べやすいようにしたフライ(バリカツ)を開発。

活動成果

- 給食による対馬産水産物の使用増加は、当キッチンの担った役割が大きく、地産地消の推進に貢献している。
- 当キッチンの水産加工品が、対馬市内の全学校と半数の保育所で給食として採用されていることは、豊かな食を子供達に伝える重要な役割を果たしている。
- 東京海洋学校との共同によるバリカツの販売、学食への採用など、アイゴ加工品を島外に広め、磯やけ問題に対する意識向上にも貢献している。

峰町東部漁業協同組合
長崎県対馬市峰町佐賀33-14

Tel :0920-82-0011 Fax :0920-82-0855

はこざき

箱崎漁業協同組合

未来に引き継げ！伝統漁法～若者への伝統漁法の継承～



定置の水揚げ



高校生を対象とした水産教室



中学生による水揚げ状況見学

取組概要

- 平成22年に漁協自営に移行してから、経営の合理化のため、定置網の統数及び作業員の削減などコスト管理を進め、経営を安定化。地元高校を卒業した新規就業者に対して雇用の場を提供。
- 壱岐の高校生を対象とし、海洋生物の観察実習及び定置網漁業の体験学習を実施。大学のインターンシップの受入れも積極的に取り組む。
- 定置網の補修技術をベテランから若手へ継承。伝統的な技術を伝えるとともに、補修のコストを削減。

活動成果

- 定置網漁業が漁協自営に移行した後、組合によるコスト管理により経営が安定したことで、地域を支える重要な産業として現在まで継続。雇用の場としての役割を担う。
- 高校生や大学生に対する就業の場として、水産業を周知・PRしたこともあり、若手漁業者を確保できている。
- 若手漁業者の継続的な確保により、漁村集落の維持や、定置網による伝統漁法の技術継承も行われている。

箱崎漁業協同組合

長崎県壱岐市芦辺町瀬戸浦171番地

Tel :0920-45-2350 Fax :0920-45-3710

ますえいまる

地のもん工房 増栄丸

2次離島発 海の幸を生かした手作り惣菜



長崎県産品・特産品のサイトでの紹介



商品例

取組概要

- 五島市内の杵島で民宿・遊漁船業を経営しながら、地の魚を使った料理を来客者に提供。好評であり、島の活性化を視野に、惣菜の加工品を製造開始。
- 平成22年に小規模ではあるが加工場を作り来客者へ提供。さらに県内外へ向けたインターネット販売を開始。
- 平成26年度には、離島活性化交付金を活用し、新たに加工場及び加工機器等を整備して生産体制を充実。

活動成果

- 長崎県産品・特産品のサイトに紹介。県内外デパート等での展示販売などに伴い、購入リピーターも増加するなど、徐々に成果が上がってきている。
- 加工場は、島の女性及び島内移住者の就労の場・活動の場としての効果も上がってきている。
- 今後は、地元の惣菜を中心に水産製品を試作しながら品目を加えるなど、杵島発の加工品の普及・販売に努め、地元の活性化をさらに進めていきたい。

地のもん工房 増栄丸

長崎県五島市伊福貴町592-10

Tel :0959-78-2269

Fax :0959-78-2289

ありえ
有家にとまろう会

漁師体験、取れたて地魚料理でおもてなし！



民泊食事風景



郷土料理 イギリス



郷土料理教室

取組概要

- 修学旅行生(中・高校生)を対象に民泊の受入を推進。新鮮な旬の地魚や海藻を用意して、修学旅行生と一緒に食事を作っている。
- 修学旅行生の漁業体験は、養殖ワカメの刈り取りやヒトエグサの出荷選別、小型ガザミの再放流活動等を実施。
- 地域の小学生や保護者を対象に、漁村文化の伝承のために、「イギリス(寒天料理)」や、魚のさばき方・煮付け等を教えている。

活動成果

- 民泊を受入れることにより、零細沿岸漁家の経営多角化につながり、漁家経営の安定化が図られた。
- 受け入れた学生などが、漁業体験を通じ、漁業への理解を深めている。
- 水産物を身近な食材として感じてもらう調理体験、宿泊者に対する地場水産物を使用した食事の提供により、魚食普及、地産地消、低利用魚種の活用等が図られている。

みなみしまばら

一般社団法人 南島原ひまわり観光協会

第二の故郷・南島原を目指して



中国修学旅行受入れ



修学旅行歓迎の様子



修学旅行涙のお別れ

取組概要

- H21年度から農林漁業体験民泊の受入れをスタート。教育旅行の誘致等により、H27年度には約170軒まで受入家庭が増加。
- インバウンドについては、台湾の定期ツアーなど、H27年度には1,400人の受け入れを実施。
- 民泊のスタイルは、それぞれの農林漁家で来訪者を家族の一員として、家業体験、食事づくり、団らんを過ごす。各家庭での「おもてなし」が感動を呼ぶ。

活動成果

- H27年度は、12,000人を超える受入。今では、南島原市を代表する取組のひとつとなっている。
- 受入家庭が生きがいを感じ、旧町や業種の垣根を越え、力を合わせて受入れを行う姿は、市の中で最も合併効果を感じさせる事業ともなっている。
- 来訪者にとっても満足度が高く、離村式の際には涙を見せることも多い。修学旅行においては、再訪が年々増加し、H27年度は51校中17校がリピーター校。

ながようら
長与浦再生活動組織

長与浦の再生を目指して



船上の取り上げられたアナアオサ



耕うん機の投入



現場での砂の投入

取組概要

- 海底の底質悪化の原因と考えられるアナアオサを除去。悪化した底質を改善するための海底耕うんと客土、さらに水質の浄化が期待されるアサリの稚貝沈着の促進に取り組む。
- 取り上げたアナアオサは、肥料会社に引き取ってもらい再活用。H27年度からは、組織自らも試験的に堆肥化に取り組む。
- 耕うん機は、船外機船でも使用できる簡易な耕うん機を独自に開発。

活動成果

- 客土を行った漁場では、5ヶ月後から7ヵ月後に、アマモの生育数が増加した。
- 海底耕うんを実施したところでは、平成16年以降全く獲れなくなっていたナマコが、平成23年度から毎年約500kg漁獲されるようになった。
- 環境に対する意識改革が進んだ。独自に開発した耕うん機は、浅い場所でも効率よく耕うんできることから、大村湾の他の地域からも関心を集め、普及が進んでいる。

長与浦再生活動組織

長崎県西彼杵郡長与町齊藤郷290-1

Tel :095-883-4824 Fax :同左

はさみひがし

波佐見東地域集落活性化協議会

陶・農の里はさみ



米作り塾 棚田の再生を目指し高校生の田植え



ファーマーズマーケット



棚田の米粉を使ったスイーツ

取組概要

- 地元の有機野菜にこだわって「西の原ファーマーズマーケット」を毎月、第3日曜日に開催。
- 地区内の休耕田を利用した種蒔き・収穫に、器づくり(波佐見焼き)の陶芸体験を組み合わせた体験塾(そば塾・米塾・味噌塾)を開催。
- 近隣の2つの高校と連携し、中山間地における棚田の再生に取り組む。棚田米を利用し高校生が米粉のスイーツづくりを行い、空き店舗を活用し販売。

活動成果

- 猟友会のメンバーが自費で処理施設を建設し、イノシシ加工肉の販売を始めた。
- 散策マップづくりや、住民を巻き込んだ「集落を知る町歩き」の実施など新しい取組が始まってきた。
- 野菜づくり講習会や、飲食店との連携したイベントの開催が企画されるなど、体験観光や食の発信の取組が進展してきている。

波佐見東地域集落活性化協議会

長崎県東彼杵郡波佐見町井石郷2255-2

Tel :0956-85-2214 Fax :0956-85-2856

郷土料理研究会

きずし
400年前の味で島興し～『紀寿し』復活～



「紀寿し」



「紀寿し」の加工



イベントでの販売活動

取組概要

- 約400年前、紀(和歌山県)から移り住んだ人が伝えたと言われる「紀寿し」。アジの姿寿司が郷土料理として残る田辺市湊浦漁協で加工を研修。試作・レシピ作りを行い、味付け等は現代風にアレンジ。
- 商品名を「生寿司」から「紀寿し」に改名し、平成23年度に商標登録を行った。
- 直売所、イベント等で販売し、観光客へのも提供。「紀寿し」は、新上五島の新たな特産品として定着。

活動成果

- 販売イベントやマスコミ取材などを通じた情報発信等により、次第に売り上げが伸び、現在は、年間150万円程度の売上となっている。
- 地元の人々にも広く受入られており、「紀寿し」は、島を代表とする特産品のひとつとなっている。
- 製造・販売活動の他にも、生徒・児童を対象とした食育や、料理教室による魚食普及活動を通じて、島の魚文化の担い手として大きな役割を果たしている。

郷土料理研究会

長崎県南松浦郡新上五島町奈良尾郷379-3 Tel :0959-44-1212 Fax :0959-44-1214

ほくぶのうえん ほくぶひりょう
(有)北部農園 北部肥料

水田農業に光を！ 農村に活気を！



地元雇用、レタス収穫、種子島から全国へ出荷



7月初旬から収穫するレンコン



レタス育苗委託栽培

取組概要

- 種子島で、日本一出荷の早い「種子島産コシヒカリ」収穫後、8月から2月までの間借用。レタスを作付けし、今まで利用されていなかった農地を有効活用。
- 地元農家と連携し、レタス苗の委託育苗。農機具の有効利用と期間雇用を実施。
- 南種子町で、新たな農業生産法人化への取り組む。水田地帯でレタス・レンコン栽培を地元農家と共に、栽培技術を実証。

活動成果

- 水田農業の新たな展開が地域への刺激となり、若者が定着できる農業経営への兆しが出てきた。
- 現地職員として年間雇用(18～20人)を行うとともに、レタス・レンコンなど地元では考えられない品目の導入ができた。
- 企業としての参入するとともに、新たな農業展開の手段を示したことで、地元農家の間で、基盤整備事業の推進が前向きに動き始めた。

てんめい

天明環境保全隊

守り伝えよう地域の環境と文化 ～地域、学校教育、福祉との連携～



水源涵養 下草刈り



銭じゃこ太鼓の曳き回し



環境学習 炭焼き

取組概要

- 川や有明海の再生として、水源涵養林の育成、川に発生する水草の除去、緑川河口で葦原の野焼きや海浜清掃に取り組む。レンゲ作付けによる景観形成や水浄化等にも取り組む。
- 引き継ごう郷土の文化！をテーマに協議会を立ち上げ、漏れない節、あげたかな、どんどや、モグラうち等を伝承。
- 年10回程度、天明の全小・中学校で出前講座を開催。地域の歴史、干拓、産業についての講演会、体験学習を実施。

活動成果

- 人々が集う共同活動から様々な連携活動に発展してきた。
- 福祉事業所も清掃活動への参加や、米・野菜栽培にも取り組む。単一集落では難しくなっていた伝統行事等は地域連携で復活。さらに、行政や農漁民と連携し、花植えや野焼きも実施している。
- 天明から呼びかけた緑川の清掃は、今では流域住民2万人が参加する一大イベントに発展。都市部と地元小学校が田んぼの学校を開催し、交流している。

天明環境保全隊

熊本県熊本市南区奥古閑町1863-5

Tel :096-223-2226 Fax :096-223-5606

NPO法人 くまもと障がい者就労支援ネットワーク

「やさいってこうやってできるんだ！」わたしたちの農業体験記



里芋の収穫にチャレンジする子どもたち



里芋の収穫についての説明



里芋の収穫についての説明

取組概要

- 農家所有の畑を借用して、農業者や地域の方の指導を頂きながら、当法人の事業所で働く方々、利用している子どもたちを中心に作物を栽培。
- 作物が育っていく喜びを感じ、収穫の楽しさを体験。児童支援事業所「ひみつきち」では、療育・食育プログラムに農作業を取り入れ、日常的に取り組む。
- 障がいを抱えながらも生き活きと暮らす関係者の会「シェアハート」のみなさんに、畑で収穫した野菜で調理実習。

活動成果

- このプロジェクトの一番の効果は、笑顔が沢山見られたこと。農業指導者の丁寧な準備、打合せにより、参加者たちは農を楽しみ、人と出会い、交流することができた。
- 障がいを持つ子どもも大人も、また一緒に働くメンバーも栽培を通して、作業の大変さや楽しみ、収穫の達成感等を感じている。
- 農業体験は、参加者それぞれの自信につながり、自立のあしがりとなった。

やつしろ菜の花ファーム987

日本文化い草(畳)と菜の花プロジェクト



菜の花ウォーク



小学校菜の花米の田植え



菜の花米稲刈り体験

取組概要

- 本業「い草」を主な経営とし、菜の花から始まる循環型環境農業や農商工連携により、菜の花蜂蜜等の商品販売や菜種油を抽出。
- 菜種の油粕を利用した自家製有機肥料を田に施し、除草剤を使わず「菜の花米」を生産。「菜の花米」で地酒や玄米黒酢、飲む黒酢等を商品化。
- 菜の花畑での農業体験、菜の花畑オーナー制度、菜の花ウォーク等を実施し、農業後継者づくりのための食育を推進。

活動成果

- 菜の花ウォークイベントは、平成27年から九州国際スリーディマーチの一つとして、やつしろマーチングリーグに認定。
- 地酒づくりがテレビ番組に取り上げられ、熊本五つ星企画で一年間酒づくり番組として進行中。くまもと里もんプロジェクトのモデル事業になっている。
- 視察・研修団が年間150～200名。テレビ・ラジオ・雑誌・新聞などの取材も多く、農作業の合間を見て対応している。

ごかのしょう

五家荘宿の会

五家荘の宝を地域の誇りへ



ボリューム感の確認試作



すべての料理を真空包装して販売



新商品試作

取組概要

- 宿の料理は煮しめ、ジビエ、山菜を中心に各宿で伝承されてきた味付で調理。おせち料理を作る共通目的、それらのレシピを共有し、若い世代へ継承。
- 料理24品目中19品目の材料が地区内の山の幸を採用。販売方法は宿泊客が料理を気に入ったとき、宿に設置されたポスター、チラシをみて申し込む。
- 参画頂くお年寄りが、それぞれの得意分野で活躍し、生きがいとなっている。

活動成果

- 民宿のお母さん同士の会話が増えたことで、おせちについての情報交換だけではなく、ランチや宿泊の価格設定や、後継者問題等も話し合うようになった。
- おせち料理をアレンジして、宿の特徴を出した料理等も独自で開発されている。
- 加工では、若者・高齢者ともに雇用することで、忙しい時期でも快く参加してもらっている。衛生管理も、従事する作業員がお互いに切磋琢磨している。

五家荘地域振興会(事務局)、商品開発担当: 中村
熊本県八代市泉町椎原148

Tel : 0965-67-5888 Fax : 同左

みなまたしくぎの

水俣市久木野地域振興会

日本一の棚田(自称)のむらづくり



棚田景観を楽しむ棚田のあかり



水源の森づくり



伝統技術 石垣積み教室

取組概要

- 寒川地区の棚田(約30ha)は、全国棚田百選に選定されている。
- 森と棚田を守る山村の存在意義への理解を増やし、山村の応援団を育てることを目的とし、そうめん流し、加工品の製造販売、各種手作り体験、環境教育、棚田コンサート、しし鍋マラソン大会等のイベント活動を展開。
- イベント活動には、ボランティアを積極的に受け入れ、「環境首都みなまた」としてのイメージを深化・発信。

活動成果

- 在来品種の香り米「万石」を商品化し、年間約200kgを販売。愛林館では、農産加工品の売上が年間約500万円あり、研修や体験には全国から(外国含む)年間1,000人を超える来客がある。
- 棚田は、テレビや新聞等の情報発信を通じて県内では有名な場所になった。Iターン者の定住も6名。
- 寒川水源清流を活用したそうめん流しの実施など、年間1万人を超える人が集まるコミュニティビジネスとなっている。

久木野地域振興会

熊本県水俣市久木野1071番地の4

Tel :0966-69-0485 Fax :同左

すいげんむら

NPO法人きらり水源村

廃校を活用した地域住民による都市農村交流



原井手下りアドベンチャー「イデベンチャー」



水源食の文化祭



水源交流館外観

取組概要

- H16年10月にグリーンツーリズムの拠点「きくちふるさと交流館」、さらに運営母体となるNPO法人を地域住民主体で設立。
- 「学校から楽校」を合言葉に住民により廃校を活用。古い木造校舎を一部改装し、宿泊施設やレストランとして整備。
- 自然農業体験、郷土料理の提供、新たな加工品づくり、新規就農者の育成、高齢者向け宅配弁当サービスなど、地域のニーズを踏まえた幅広い活動を展開。

活動成果

- 地域住民がいろいろな立場で参加することにより、地域全体での結びつきが強まった。交流活動を通じ住民が地域に誇りを持てるようになった。
- 活動により報酬を得た地域住民の延べ人数は300人に及び、Uターン1名、Iターン1名の雇用もあり、地域活性化に貢献している。
- 本年度は農業用水路を活用した井手下りや里山の風景を楽しむフットパスなどをグリーンツーリズムの取組として実施。

おいだけ

老岳集落

小さな農村のみんなで作る！住民総活躍地域



彼岸花ウォーキング



田んぼアート



農産物販売

取組概要

- 平成23年度から彼岸花と郷土料理を楽しむ「山菜と彼岸花の里ウォーキングと秋の味覚祭」を。平成27年度からは「田んぼアート」に取り組んでいる。
- 所得向上に繋がる取組として、イベント時のみならず地元物産館で販売すべく、農産物の種類を増やすとともに、惣菜や漬物、味噌等を製造するため加工施設を整備。
- 活動は、地域のつながりを大切にし、住民一丸となって取り組んでいる。

活動成果

- 来訪者が年々増え、地域住民の活動意欲も高まった。奉仕的な活動から所得向上の取組へと、活動内容が徐々に進化してきている。
- 具体的には、根菜類の生産や山菜の加工・販売、郷土料理の惣菜、漬物加工、シキミ栽培、学校給食へ納入等である。
- 農村景観向上への新たな取組として、「リアルかかし」の設置などにより、活動による収入も得られ、生涯現役の地域づくりを目指した活動が展開されている。

上天草市役所 農林水産課(事務局)
熊本県上天草市大矢野町上1514番地

Tel :0964-26-5516 Fax :0964-56-4972

あそ 公益財団法人 阿蘇グリーンストック

阿蘇への恩返し



輪地切り作業



野焼き支援ボランティア活動



野焼き支援ボランティア活動

取組概要

- 1995年発足以来、草原保全に向けて活動。その一つとして市民ボランティアによる野焼き・輪地切り支援活動は、阿蘇千年の草原の歴史の中でも初めての取組として、都市と農村さらに行政が連携し、広大な草原を守っている。
- 九州を始めとして全国から野焼き支援ボランティアを募り、研修会を開催。
- 活動人数は年々増加しており、2014年度は56牧野で延べ約2,000名のボランティアが支援活動。会員数は740名超。

活動成果

- 支援活動を継続すると共に、野焼きの減少に歯止めをかけて、阿蘇の環境保全と再生に寄与。牧野面積は約5000ha、阿蘇の焼き面積の4分の1以上。
- 環境省とも連携し、草原を再生。国立公園の草原景観と希少動物の維持保全に大きく貢献している。
- マスコミに取り上げられる機会も多くなり、学生や地元の人達の参加も少しずつ増加。地元でも草原保全の意識が高まってきている。

公益財団法人 阿蘇グリーンストック(公益事業課)

熊本県阿蘇市小里656-1

Tel :0967-32-3500 Fax : 同左

こうし 一般社団法人 合志農業活力基金

「志を合わせて地域を元気に！」合志農業活力プロジェクト



東京都内での合志ジュースの販売



新品種(WE米)を使った加工品



新規就農検討者向けの研修会

取組概要

- 合志市・熊本製粉・自然電力グループが、合志市内で運営する太陽光発電所の売電収益の一部を地域に還元するプロジェクトで、平成26年度からスタート。
- 地域の農業基盤を維持する「守りの農業」として、排水路、調整池等の維持管理・修繕作業へ助成。
- 新規性の高い取組やアイデアを助成する「攻めの農業」として、農産物販路拡大、バイオガス発電調査事業、新品種育成等へ助成・支援。

活動成果

- 「守りの農業」においては、農業水利施設等の維持管理を適切に行うことで、農業生産性の向上・農業総生産の増大につながっている。
- 「攻めの農業」においては、新規性の高いアイデアによって、新たな販路の開拓や魅力創造の基盤を作ることができた。
- 新規就農希望者への支援など、人的資源も掘り起こし、農業の面からイノベーションを起こしていく気運を高めている。

こうし
「合志あぐっと！村」運営協議会

都市と農村の交流による魅力発信活動
（「なんもなか！」それが農村の隠れた魅力！）



稲刈り体験



そば打ち体験



農業シンポジウム 講演：落語家

取組概要

- 都市部の消費者に、野菜の種まきや収穫、搾乳体験、鶏卵拾いなどの農業体験を行うとともに、地元食材を使った料理を食べたり、家畜と触れ合うことを通じて都市農村の交流を推進。
- 未来農業塾と称して農業シンポジウムを開催し、観光農園経営者やイタリア料理のシェフ、落語家など、多彩なゲストの講演等で「食」と「農」の魅力を発信。
- 地元農家がSNSを活用して取組を情報発信し、後継者育成や就業機会を促進。

活動成果

- 活動状況等は映像コンテンツやSNS等で情報発信し、農村の隠れた魅力をPR。イベント開催に対する問合せも増えてきている。
- 農村での日常の体験が、都市部の人々が非日常を体験できる良い機会となっており、農業・農村に対するイメージアップに繋がっている。
- 農家が中心となって、小学生の農業体験を指導。小学生に限らず、幼稚園や保育園でも農業体験の希望が増加してきている。

「合志あぐっと！村」運営協議会（合志市役所企画課内）

熊本県合志市竹迫2140

Tel :096-248-1813 Fax :096-248-1196

みずかみさこ

水上迫生活研究グループ

スコップの音と共に、集落一丸の地域活動



なべぶた楽団(楽器はスコップ、鍋ぶた、フライパン、栓抜き)



地元小学生に出前伝承料理講座



フットパスでの軽トラカフェ

取組概要

- 水上・迫の2集落の農家の嫁が主体となり農村女性15名で「水上迫生活改善グループ」を結成し、農村の生活改善活動を開始。
- 味噌加工、手作りほうき、ごきぶり団子、防火訓練呼び掛け、黒ゴマ栽培、唐がらし酢の加工、高齢者用昼食の提供、小学校での料理教室等を実施。
- 「なべぶた劇団」、「親子里芋堀りと団子汁体験」、フットパス受入時の縁側カフェ、軽トラカフェや、ひまわり植栽等で交流。

活動成果

- 35年間続けたことが、中山間地域のグループ活動として、他地区の参考事例となっている。地域での高齢者サービス、世代間交流活動などが、地域住民に受け入れられ、協力者も多くなっている。
- 演劇活動については、町外からの公演依頼が多く、意義ある活動と高く評価され、参加者の生きがいにもなっている。
- 他地区との連携も強くなり、また視察者も多い。農村女性グループ活動が評価され、地域に根付いてきている。

水上迫生活研究グループ
熊本県美里町畝野1575

Tel :0964-48-0235 Fax :同左

ぎょうとうまち

玉東町商工会

ハニーローザのブランディング化と商品開発 (ハニーローザ日本一の産地「玉東町」果物の里宣言)



展示会及び商談会の出展様子



ハニーローザの加工品開発「甘酒」



生果ギフト用パッケージロゴデザイン

取組概要

- 玉東町において農業と商工業の発展は表裏一体であると考え、商工業の維持と農業の所得向上を目的にタイアップした商品開発に取り組む。
- 玉東町で日本一の栽培面積と生産量を誇る幻のスモモ「ハニーローザ」に着目。加工品としてジャム、ドライフルーツ、甘酒を開発し、展示会等でPR。オリジナルパッケージやロゴ等も作成。
- 加工品原料(搾汁)は、町の加工センターにて1次処理できる仕組みを創設。

活動成果

- ハニーローザは痛みやすく出荷できない果実も多かったが、加工品の開発により、これを活用できるようになった。
- 展示会への出展で生果と甘酒はカタログギフトに取り扱われるようになり、知名度が向上し、町のブランド力を高めることができた。また、付加価値により販売単価も向上した。
- 加工品を全国向けにPRしたことで、需要が拡大。生産者の意欲向上につながっている。

玉東町商工会

熊本県玉名郡玉東町上木葉398-1

Tel :0968-85-2174 Fax :0968-85-2827

ま き 真木地区協議会

豊かな緑と湧水・歴史に薫る元気な里山！



田植え体験(7団体・400名が参加)



元気塾での血圧測定



交通弱者対策として試験運行

取組概要

- 水田の田植え・稲刈り体験等を通じて農村と都市圏が交流。地域全体の協力で遊休農地も解消に向かい、地域営農法人を設立し、農地の維持と集積を促進。
- 女性有志による「元気塾・ふれあいサロン」を通して、地域高齢者の健康増進や明るく楽しい生活を目指す活動を実施。
- 定期バスの運行がない地域の高齢者や、児童・生徒等交通弱者の交通手段として、地域コミュニティバスを試験運行。

活動成果

- 平成27年度から始めた事業を通して、区民が地域の良さを再確認。各事業の展開の中で区民の連携が強固になった。
- 地域の豊かな緑と豊富な地下水によって、地域とそこに暮らす住民は育まれているという自覚が更に増した。
- 少子・高齢化が急速に進展する中、当地区の住民が、いかに真木地区の良さを子どもや孫たちに発信できるかが、今後の取組の課題となる。

真木地区協議会

熊本県菊池郡大津町真木412-1

Tel :096-293-4558 Fax :096-285-1672

くまもと

株式会社 熊本玄米研究所

農村に黄金の実りを！米の消費拡大を応援します！！



玄米ペーストパン専門店「玄氣堂」



「玄氣堂」店内



玄米パスタ麺

取組概要

- 平成25年10月に設立。米ペースト及びそれを用いたパンの開発を始めた。
- 平成26年6月に玄米ペーストパン専門店「玄氣堂」をオープンし、常時80種類以上の玄米パンを販売。平成28年3月には工場を開設し、新技術で開発した玄米ペースト麺も製造。
- 原料玄米は全て熊本県産を使用し、地産地消に貢献。平成28年度は新規需要米としてパン用「ミズホチカラ」を農家15軒で。麺用「越のかおり」を10軒で。

活動成果

- 「玄氣堂」のオープン以来、約50トンの米粉用米を集荷。これまで土質が原因で主食用米を作るのに適さなかった地域でも、作りやすいと好評である。
- 「玄氣堂」の売上は年間6千万円、購入客の大半は健康への関心が高い40～60歳の女性で県外のお客様も多い。
- 玄米ペーストパスタ麺は、グルテンフリーで小麦アレルギーの方にも安心して食べて頂けるとともに、プリプリした食感が高評価を得ている。

株式会社 熊本玄米研究所
熊本県菊池郡菊陽町原水2897

Tel :096-340-5500 Fax :096-340-5511

あそなんごうひ

阿蘇南郷檜ブランド化推進協議会

神々が宿る木～阿蘇南郷檜～



阿蘇南郷檜の山林



テスト出品



育成技術研修会

取組概要

- 古くより郷土の宝として育てられたナンゴウヒを阿蘇南郷檜としてブランド化。材価を高めることで、林業収入を向上させ、後継者の確保など林業が活性化。
- 熊本県内外から多数の購入者が参加する「くまもと秋の銘木&選木市」において、阿蘇南郷檜の知名度の向上と新たな販路拡大を目指して、ナンゴウヒ原木をテスト出品。
- ナンゴウヒを育成する指導家を講師とし、会員を対象に研修会も開催。

活動成果

- ナンゴウヒへの取組は、林家のみならず、山林所有者や地域住民の地域資源の再発見につながり、地域林業復活の契機となっている。
- 阿蘇地域の林家や林業関係機関、行政の連携体制構築により、継続性のある需要拡大やブランド化の推進等に対し、スピード感をもって取り組んでいる。
- 阿蘇地域のみならず、熊本県下の木材市場や製材企業へ注目度が高まり、購買意欲の醸成にもつながっている。

阿蘇南郷檜ブランド化推進協議会(事務局:高森町役場農林政策課農林振興係)
熊本県阿蘇郡高森町大字高森2168番地 Tel:0967-62-1111(内線414) Fax:0967-62-1174

ひごむらさきブランド化研究会

阿蘇の大地に恵まれた肥後一番の旬の味



ロゴマークを使用した個別包装



企業と連携した食育ツアー（調理）



販促店舗現地状況調査

取組概要

- 熊本赤なすの新品種「ひごむらさき」の認知度を向上させるため、ホームページの立ち上げや、メディアを使ったPR、物販時にはレシピ集も配布。
- 地産地消の推進のため、県内各地で行われる物産展や農業フェア等に出展。食育では、企業と連携した収穫体験や料理教室のツアーを実施。
- 販売促進活動においては、大消費地での知名度向上を目指し、東京都での販売や販促店舗の現地状況調査を実施。

活動成果

- 取組の強化により、大消費地での新たな展開や生産者のブランド化意識の向上に繋がっている。
- イベントでの物販、収穫体験や食育ツアー、テレビ等のメディアでの取り上げ、視察や大学生の研究受入等に伴い、県内はもとより、九州各県や他地域にも「ひごむらさき」の名が浸透してきている。
- 「ひごむらさき」のブランド化を図ることにより、他の作物の生産者にも同ような意識が芽生えてきている。

事務局：高森町役場 農林政策課

熊本県阿蘇郡高森町大字高森2168番地

Tel :0967-62-1111 Fax :0967-62-1174

かあ
パワフル母ちゃん

閉校校舎を活用して、地域をパワフルに！



グラウンドバザールの様子



県立大での調理実習



地域の敬老会でのひょっこり踊り

取組概要

- 平成21年3月小学校が閉校となり、これを契機に活動を開始。梅ジャム、うまかたし、柚子ごしょうを作り、薬草の商品化の研究を行う。
- 県立大とレシピづくりで地産地消を推進。イベント等で集客数の増加につながる活動や、地域の特徴を活かした加工品作り、デザイン開発を実施。
- 旧小学校を活用した定期的なカフェの開催や催事での食事を提供。地区の畑や山を調査して薬草マップを作成。

活動成果

- 高齢者サービスや旧小学校を活用した取組で協力者が多くなった。イベントへの積極的な参加により、認知度も徐々に向上してきた。
- 旧小学校を生かしたことで活動の場が広がり、5年先、10年先の地域作りを計画できるようになった。
- 地区で年2回開催しているグラウンドバザーでは地域住民総出で運営。毎回1000名程度の参加者があり、住民のやりがい生まれ活性化に繋がっている。

パワフル母ちゃん

熊本県上益城郡甲佐町小鹿358

Tel :096-234-0762 Fax : 同左

やまと
NPO法人 山都のやまんまの会

山都町の「まんま学校」



まんま学校「秋編」参加者



まんま学校「春編」菜種の種選別



山都ん よかとこ宣伝隊in福岡市

取組概要

- 子どもに焦点をあてた地域づくりを目的に活動。地域や都市の子どもたち、保護者を対象に「食」「農」「暮らしの知恵」の体験・継承と交流の場を提供するために、「山都のまんま学校」を実施。
- 農業体験(田植え、稲刈り・掛け干し)と「かまど」でのご飯炊き、収穫感謝祭&棚田ウォーク等を実施。
- 活動の中心の女性たちが、地元住民との世代間交流を進めながら、子供たちと伝統文化を継承。

活動成果

- 「生きるという原点」を次世代に伝えることや、自分の周りには学ぶべき人が沢山いることを伝えている。
- 子どもたちが能力を発揮する場を提供すること、孤独な子育て環境を解消すること、子ども自らが地域とのかかわりや役割を学ぶことを進めている。
- 地域を誇りと思う人材が育成されるとともに、地域の歴史や生業に対する認識や、子どもたち自身のいろいろな生き方への見識が深まってきている。

山都のやまんまの会事務局((株)まちづくりやべ企画事業部)

熊本県上益城郡山都町浜町239-3

Tel :0967-72-1723 Fax :0967-72-1724

みずまさり

水増ソーラーパーク管理組合

自立する集落へ ～共感を都市へ、多世代へ～



東京都市大学の枝廣ゼミ農業体験



水増ソーラーパーク管理組合の会合



集落営農 稲刈りイベント

取組概要

- 集落創生へ向けた具体的提案があったテイク社をパートナーに選定、共有地を活用しメガソーラー事業に取り組む。売電収入の5%を地域に還元。
- 小さな農業でも、農薬・化学肥料を使わない集落の営農方向を決定し、主に大豆在来種（八天狗）の拡大を目指す。加工は熊本の企業と提携し、販売マーケティングは大学と提携。
- 都市との交流イベントにより、多世代交流を推進。

活動成果

- 集落自前で営農方向を決意し、大学や地元企業と連携しながら首都圏で子ども食堂を設置。合宿やイベント会議、視察受入等も行い、「よそもの」の知恵と経験を取り入れていった。
- その結果、交流人口が集落人口の50倍に増加。特に、在来種大豆（八天狗）の目途が立ち、来年度は首都圏で販売を目指している。
- 経済に偏重しない幸せ概念や、幸せ実感の日常について、議論を深めた。

水増ソーラーパーク管理組合
熊本県上益城郡山都町島木2551

Tel :096-233-1580 Fax :096-233-1581

地域で生き抜くプロジェクト



移住モニターツアー



福岡市内のアンテナショップ



健康教室

取組概要

- 集落機能の維持存続を目指し、集落支援員制度を槻木地区に導入。
- 支援員は、移住モニターツアー、生活支援車の運行、アンテナショップ、ネット販売、近隣地区との交流事業、地元集落座談会や健康教室の開催、伝統芸能への参加、消防団員活動、環境美化運動等を通じて地区を活性化。
- 移住定住や住環境の整備、各種施設の整備、産業おこし・ネットワークの構築等の具体的な計画(H27～H31)を策定。

活動成果

- 集落支援員の導入や槻木小学校の再開を契機に、農産物等の生産・販売、槻木小学校行事への住民の参加、老人会活動など、様々な面において地域に活気が出てきている。
- 今年4月には、山村活性化支援交付金を活用し、地元の農林産物を利用した商品開発の組織を立ち上げた。
- 今年7月には、新たな移住者も来るなど、着実にその効果は出てきている。

多良木町役場 企画観光課

熊本県球磨郡多良木町大字多良木1648番地 Tel :0966-42-1257 Fax :0966-42-2293

国産材品質表示推進協議会SSDプロジェクト

大径木活用商品の開発・販売による地域貢献



丸太状熱処理併用複合乾燥釜



準防火地域内でのサーモ材外層仕上げ



居宅内でのSSD杉材活用状況

取組概要

- 大径木は、大きすぎてオートメーションの製材ラインに乗らないため売れなくなっており、これが最近の林家収入を下げている原因のひとつ。
- SSDプロジェクト新規開発技術の「丸太状熱処理併用複合乾燥法と芯去り製材手法」は、この大径木丸太を有効活用するために開発。
- これらの技術は、平成25年度の農商工連携事業の認定を受けており、球磨杉・桧製材品のブランド化を推進。

活動成果

- 球磨杉・桧製材品の普及・販売促進に努めた結果、販売量・販売額は急速に増加。熊本県湯前町・水上村で多くの雇用が生まれた。
- 本年6月に大阪市で開催された建設資材展示会に出展したところ、ビルダーなど需要者から大きな反響を得た。
- 今後これら製品の需要増加に伴い、地元でのさらなる雇用や、高付加価値商品の販売による原木買取量の増加が期待できる状況である。

このみぞ

幸野溝土地改良区

日本遺産の里「水土里豊かな幸野溝で学ぶ！」



田んぼの学校



森林の学校



グリーンツーリズム カヌー下り

取組概要

- 田んぼの学校は、土地改良施設の見学・学習を行いながら、農作業体験を通じ、農業への理解や食育、農業用水について、親子で学んでもらう活動。
- 森林の学校は、地域の大人や子供たちが、水源林についての勉強会や植林活動等の体験学習会に参加し、「農業用水」と「水源林」の関わりについて理解を深めてもらう活動。
- 土地改良施設を有効活用し、カヌーやボートでの水路下り、隧道体験を実施。

活動成果

- 水土里ネットの活動を次世代を担う子供たちに知ってもらうべく、普段体験することの少ない農林業体験をしてもらうことで、自然・農業の大切さ、水土里ネットの役割を周知することができた。
- 子供たちは「農業はおもしろそう、楽しそう」等、農業に対する意識の変化や、さらなる理解も深めてきており、リピーターも増加している。
- 地域活性化につながり、農業に対する応援の輪が広がってきている。

幸野溝土地改良区

熊本県球磨郡湯前町2065番地

Tel :0966-43-2062 Fax :0966-43-7155

田舎の体験交流館さんがうら運営委員会

地域資源の活用やボランティアを取り込んだグリーン・ツーリズム
（「日本で最も美しい村」の自然と景観等を活かした美しいむらづくり）



眼下に松谷棚田を望む「田舎の体験交流館さんがうら」



花いっぱいボランティア運動



棚田での稲刈りと掛け干し体験

取組概要

- 平成23年4月、廃校となる小学校を都市農村交流拠点施設として改修し、当運営委員会を設立。
- 大学と連携し、地域資源の調査とそのマップ等を作成。モニターツアーの実施とPR動画の製作も行う。
- 平成26年度は、新たな自然環境や地域資源を活かし、子供も楽しめる多彩な体験メニューを開発。平成27年度は、「そば」を活用した体験ツアーや、女性による加工品等を開発。

活動成果

- 田舎体験メニューにより、都市住民に癒しを提供している。さらに散策ルートの開発を行い、集客増と滞在時間の確保につながっている。
- 地域住民との協働により、拠点施設「さんがうら」を集落が連携して守り、運営する機運が醸成されてきた。
- 高齢者の所得向上と女性活躍の場の提供となった。その結果、交流人口や売上の増加につながり、地域活力向上と住民の生きがいとなっている。

ちゅうさんかんまつお

中山間松尾集落

遠山桜の再生と松尾集落の生き残り戦略



集落の象徴である「天空に咲く遠山桜」



地元で加工したわらびの酢漬け



有害鳥獣防止柵設置状況

取組概要

- 一本桜として知名度の高い「天空に咲く遠山桜」の生育障害が発生したため、基金を創設し治療を継続。栗の収穫体験ツアー、大学生とのフィールドワーク等も実施。
- ワラビの酢漬けの加工場を建設。付加価値向上に向けた商品開発と販路拡大活動を、町と共同で実施。
- 鳥獣被害防止のため、6.5kmの防止柵の設置や環境整備で、イノシシの被害がゼロに。

活動成果

- 有害鳥獣の研修来訪者の増加に伴い、ワラビの酢漬けが購入されるなど、地域経済に波及効果。栗の収穫体験ツアーや大学生とのフィールドワークにより、リピーターが増加している。
- ワラビ加工・販売により、高齢者の生産意欲の増進と結束力の強化に繋がった。
- 防止柵設置等により、鳥獣害の被害が無くなり、集落住民の生産意欲が高まり限界集落に歯止めがかかっている。

中山間松尾集落

熊本県球磨郡あさぎり町須恵7512-19

Tel :0966-45-5169 Fax :同左

みどりの会

てんじく 天草に天竺がある



ツツジ祭り時の山頂を訪れる見物客



天竺を目指しスタートする登山客



会員による山や道路の手入れ

取組概要

- 「天竺」(下天草で最高峰)の山を地域の宝として活性化を目指し、平成15年の秋に初の登山会を実施。翌年から山頂一帯にツツジを植栽し、地元で親しんでいただける公園づくりを目指した。
- ツツジが咲き誇るゴールデンウィーク時には、「天竺ツツジ祭り」を開催。
- 秋の紅葉時には「天竺天の川西遊記登山」と銘打ち、閉校した小学校跡地から山頂までの健康登山を継続して実施。

活動成果

- イベント等を実施することにより、地区外からの流入による賑わいが見られ、地域全体に活気がみなぎってきた。
- イベントの際には、地元物産の販売を呼びかけ、これも定着しつつある。
- 継続して実施してきたことにより、知名度が高まり、地区住民はその成果を実感できるようになってきた。

みどりの会

熊本県天草郡苓北町都呂々5174-6

Tel :0969-36-0576

くにさきはんとう うさちいき

国東半島宇佐地域世界農業遺産推進協議会

次代へ繋げよう！世界農業遺産の輪



中学生特別授業



小学生向け教材本を活用した啓発



バスツアー(工場見学)

取組概要

- 平成25年5月「世界農業遺産」として認定を受けた後、「次世代への継承」「地域の元気づくり」の2つを柱に取り組む。
- 「次世代継承」として、小学生には教材本配布や作文コンクールを。中学生には、生産者等を講師とする授業や「中学生サミット」を。高校生には、生産者ヘインタビューを行う取組等を実施。
- 「元気づくり」として、都市圏の方を対象に、工場見学やしいたけ収穫体験などのバスツアー等を実施。

活動成果

- 世界農業遺産の認定により、住民が自らの地域に誇りを持つきっかけとなり、ウォーキングコースの開発や、廃校を活用した農村博物館の整備など、地域おこしが進展した。
- 小・中学生への次世代継承教育により、身近な農林水産業について見直す機会となっている。
- バスツアーでは、「体験ができる内容がとても良かった。」等の感想が寄せられている。

だいめいこうく

大明工区資源保全組合

「大肥の庄」の恵みは絶やさない



水路の草刈り、泥あげ作業



農業体験塾 田植え体験

景観作物(チューリップ)

取組概要

- 平成10年大肥郷ふるさと農業振興会を立ち上げ、多集落1農場を目指し、共同営農部門を平成15年に法人化。
- 平成19年から農地・水・環境向上対策を活用し、農地・水路の維持保全、景観保全や農業体験等に取り組む。
- 都市住民や子どもたちを対象に農業体験塾を開催。年間を通じた農業体験(田植、稲刈、生き物調査、漬物作りなど)や季節の花を植え、景観形成にも寄与。

活動成果

- 多集落1農場の推進により、低コスト、高品質農業を実現するとともに、農地・水等の良好な保全管理を実行した。
- 集落ぐるみの共同活動でコミュニティが強化され、また都市住民との多彩な交流で地域が活性化している。
- 米・麦・野菜の販売はもとより、加工品の収益確保や、景観作物の搾油などの新たな事業展開を目指している。

大明工区資源保全組合

大分県日田市夜明上町693-1

Tel :0973-27-7211 Fax :0973-27-7210

しんすいき

進水式を推進する会

造船会社は3つ。進水式の回数なら負けない。



進水式(佐伯重工業)



進水式予定を示す「吊り旗」



新聞記事

取組概要

- 造船会社が3つあり、進水式をきっかけにしたまちおこしに挑戦。交流人口とその滞在時間の増加を目指す。
- 進水式を見に来た観光客を、宿泊・食事・買い物・他の観光につなげるため、壮大な進水式をポスター、旗、のぼりなどでアピール。
- 進水式の予定を視覚的に、また観光客の歓迎の雰囲気を知らせる。また進水式の様子を、写真や動画でSNSで発信しPR。

活動成果

- 造船会社の職員の仕事への誇りが醸成され、また造船業のイメージアップにつながっている。
- 壮大な進水式への参加は、無料で自由参加できることのお知らせが広くできた。
- 対外的に佐伯市のアピールにつながるとともに、市民の進水式への理解が深まった。今後、市内関係者の協力で、お得感のある観光客誘致運動に育てたい。

進水式を推進する会
大分県佐伯市城下西町

Tel :080-8576-7128

うすきツーリズム活性化協議会

臼杵時間体感！みんなが臼杵を好きになるプロジェクト



竹ものづくり体験イベント



外国人モニターツアー



うすき100年弁当

取組概要

- 協議会は、GT研究会、うまいもん加工協議会、吉四六の里観光協会、臼杵市観光協会で構成し、農泊、特産品開発、観光を柱にコーディネート。
- 「竹を活用したまちづくり」をコンセプトに、市民団体が連携してイベントを開催。インバウンドの誘致にも力を入れる。
- 特産品・田舎料理・石仏・祭りなどの資源を活用。農村民泊のセットプランにより、臼杵ツーリズムスタイルを確立し、移住も促進。

活動成果

- 協議会を通じて、各実践団体のつながりができ、市民の独自のスキルを生かした募集型ミニイベントなど、滞在者のニーズに合った体験の場を提供している。
- 移住希望者向け農泊ツアーでは、臼杵独自の人・食・自然の魅力を発信し、大きな効果が出てきている。
- 地域内外の連携を更に強化し、企業・団体向けの研修プラン（臼杵の魅力を体感できる商品）の開発を目指す。

あわてばる

栗手原資源保全推進協議会

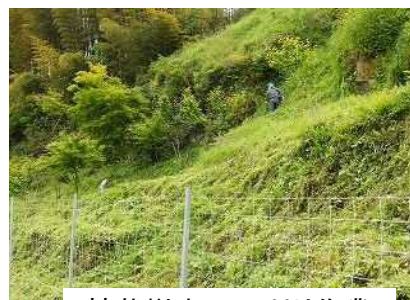
こころの故郷栗手原(かかし祭りをとおしての地域交流)



かかし祭り



かかし祭り 保育園児表彰



植栽樹木の下刈り作業

取組概要

- 平成19年から、農地・水・環境保全向上対策に取り組み、農道、水路等の良好な管理に取り組む。
- 併せて平成21年から、高齢者から子どもたちまで地域住民みんなの交流を図るため「かかし祭り」を開始。
- 景観維持のため、もみじと牡丹桜を植樹し、下刈り・剪定等により、良好な里山を形成。

活動成果

- 共同作業、共同活動により、地区内のコミュニケーションが活発化。良好な農道・水路等の環境が保全されている。
- かかし祭りは、小学校・保育園や各種団体と連携して、かかしを毎年製作して、農道脇に展示。高齢者が小学校等に出向き、かかし製作を指導している。
- 地域全体の交流が図られ、美しい田園風景が守られている。

ぶんごたかし

豊後高田市グリーンツーリズム推進協議会

国東半島世界農業遺産の地でおもてなし



入村の様子



農業体験



座禅体験

取組概要

- 平成18年に、農家7戸と市役所農林振興課で、所得向上や地域活性化を目指して協議会を発足。
- 市内にある40軒の農家民宿を利用し、外国人の団体受入を実施。民宿ごとに独自の体験・食事・宿泊を行う。言語は「指差しカード」で対応。
- 体験メニューは、地域を活かして、野菜栽培、そば打ち、料理体験、寺社仏閣の散策・写経や座禅、和太鼓体験など多様な体験メニューが人気。

活動成果

- 農業体験・食事・宿泊が基本であるが、各受入農家民宿は、年間を通じ多彩な体験メニューを用意。日本の文化や生活に触れていただくことを目標としている。
- 心のこもったおもてなしがモットーで、そのことを大切に情報発信やPRを行っている。
- 季節を問わず入村しており、受入農家の所得向上や市内施設入場者の増加に貢献している。

豊後高田市グリーンツーリズム推進協議会
大分県豊後高田市新町989-1

Tel :0978-25-5805 Fax :0978-23-1870

にしおおほり

西大堀地区農地・水・環境保全組合

環境と農業資源の保全活動で村をきれいに！人を元気に！



長寿会・婦人会・子供会合同の清掃活動



泥上げ作業



広報誌(秋号)

取組概要

- 平成19年、農業者をはじめ、地区の自治会、長寿会、婦人会、青年会、子供会等地域ぐるみで農業資源や環境の保全を目的に設立。
- 草刈り、泥上げ、ゴミ拾い、施設の補修、花の植栽など、地域全体で取り組むことにより、世代間の交流や地域コミュニティの活性化に寄与。
- 非農家の理解もあり、活動への参加率も高く、年4回の広報誌も発行。

活動成果

- 自治会をはじめ、各種団体の理解や協力が得られ、スムーズな活動へ移行できた。
- 地区のコミュニティ強化に伴い、年間の活動計画が住民総出で実施されており、良好な農道・水路等の維持管理や環境の保全がなされている。
- 地域全体の交流が図られ、美しい農村景観が守られるとともに、住民の当たり前の活動となっている。

しもりやま

下森山環境保全組合

神様と仏様にいただいた森山の自然を後生に
(農家と非農家の連携による農村の維持保全)



遊休地を活用し、ひまわりを植栽



地区内の清掃作業



食育体験

取組概要

- 平成24年、JR駅に近く混住化が進む中、地域住民との共同作業を通じ、農地・水等の資源の保全管理と農村環境を守るため、組合を設立。
- 農地・水等の農業施設の維持管理はもとより、地区内の公園・道路・水路等の環境美化に全世帯で取り組むとともに、休耕田を活用し(景観作物としてひまわりを植栽)フラワーロードを形成。
- 子どもたちの野菜の収穫体験などを通じ、地域コミュニティを強化。

活動成果

- 地区内の清掃作業等により環境美化がなされ、農地・水等の保全是もとより、地域の環境保全につながっている。
- 地区のコミュニティ強化に伴い、自治会・老人クラブ・子供会等の行事が活発化し、世代を超えた交流となっている。
- 食育体験や農業の楽しさを学べる収穫体験を通じ、農業後継者の育成や地域の伝統文化の継承に寄与している。

下森山環境保全組合
大分県宇佐市大字森山869

Tel :0978-32-1995

あじむまち

NPO法人安心院町グリーンツーリズム研究会

グリーンツーリズムの発祥の地「安心院町」



農泊で教育旅行の受入



海外企業の農泊体験受入



グリーンツーリズム欧州研修

取組概要

- 1日1組を原則として、農作業や料理づくり、食事などを通じて、農村のあるがままの暮らしを体験する農村民泊を実施。
- 先進的な欧州の農村の姿を学ぶ欧州研修、おもてなしの質を高めるための農泊実践者向けの研修会を開催。
- 農泊家庭の料理を120品集めた食のイベントや川歩きイベント等を開催。

活動成果

- 平成8年には8軒だった農泊受入家庭が60軒に増え、年間延べ日数1万人が訪問。
- 60軒の年間売上は平均で120万円あるなど所得向上につながっているほか、地域の農産物直売所等への地域経済波及効果も大きい。
- 海外からの農泊客も約1千人から約2千人と約2倍に増加(H23-27)。

NPO法人安心院町グリーンツーリズム研究会

大分県宇佐市安心院町下毛1195-1

Tel :0978-44-1158

Fax :0978-44-0353

株式会社生活工房とうがらし

生活工房とうがらしから伝える大分の食



タイバンコク国際商談会「ごはんセミナー」



第4回SUPERVISIONS



生活工房とうがらし建物全景

取組概要

- 「日常の食を非日常で味わう自分たちの足元を見直す食を研究したい」との思いから、1997年台所だけの建物で伝承料理研究に取り組み、2015年に法人化。
- 郷土料理を始めとして地元に息づいてきた日常の料理を伝承。また、ゆず胡椒や乾しいたけ等を使った商品や料理を国内外に発信。
- 学校給食や栄養士等と連携し、食育はもとより「大人の家庭科塾講座」や女性によるコミュニティビジネス講座も開催。

活動成果

- 世界農業遺産認定の国東半島の宇佐地域では、農業を背景に、景観や伝統文化に加えて、食材や食文化の活動をビジネスへとつなげ、所得が向上。
- 首都圏等に発信することにより、消費者のニーズを把握するとともに、生産者・消費者と共有しながら商品を開発している。
- 外から見る視点の重要性、外からの産地訪問等の交流の中、自分たちの農業の見直しや経営の改善を実行している。

深見地区まちづくり協議会

みがけ 地域の宝物



安心院神楽保存会



荒廃農地での牛の放牧



料理・菓子づくり勉強会

取組概要

- 市の行政と住民による共同のまちづくりとして、平成21年に発足。地域を考え行動できる、地域主体のまちづくりを実践。
- 自然や景観の保全のため、各種団体が連携して草刈りや花壇の手入れ等を実施。また、荒廃農地対策として牛を放牧。
- しめ縄づくり等の伝承活動や安心院神楽保存、地域食材を使った料理講習、さらには、子どもの教育体験のため、大分大学生と地域の交流を目的としたフットパス、秋祭り等を住民主導で開催。

活動成果

- 少子・高齢・過疎の進む中、個別団体が難しかった活動が、団体相互の協力で復活や継続可能な活動となった。
- 地域外との交流により、地域の宝(資源)としての再認識及び自信・自慢につながった。
- 行政との協同により、活動資金において、自立運営の収益事業(農道・山林の整備)の目処がたち、今後の活動継続が見込まれる。

深見地区まちづくり協議会(事務局:宇佐市地域交流ステーション内)

大分県宇佐市安心院町矢畑442番地2

Tel :0978-44-4544

Fax: 同左

大野町みどり保全隊農地・水・環境保全 管理協定運営委員会

花の社会性が地域を変える



シバザクラの開花状況



盛り土と土壌流出対策



地域総出での植栽作業

取組概要

- 大野町土地改良区が中心となって、農地・水・環境保全向上対策に取り組むため、平成19年に設立。
- 農地・水路の維持保全はもとより、地区内全域を対象にシバザクラを順次植栽。各集落は雑草処理を行い、防草シートを敷く。そして植栽は集落総出で実施することで集落の連帯感を醸成。
- 新たな活動として、傾斜畑にグリーンベルトを施し、道路側溝からの土砂流出を軽減。

活動成果

- 景観保全を図るだけではなく、農作業の中で大きく時間を要する草刈り作業の軽減につながっている。
- 地域の共同でシバザクラを植栽することによって、地域の連帯感が醸成されるとともに、シバザクラの管理の面で高齢者の生き甲斐となっている。
- 傾斜畑からの土壌流出率が軽減し、排水路の土の堆積も少なくなった。

大野町土地改良区

大分県豊後大野市大野町田中2600-4

Tel :0974-34-2723

Fax :0974-34-2722

ぶんけいさと 地域起こし協議会 文溪里の会

自然が生き、人が生き、地域が活きる文溪



ウオーキングでため池見学



案山子コンクール



農村博物館(昔の農耕具など)

取組概要

- 「文溪里の会」は旧大恩小学校区(3行政区)でつくる地域起こしの会で、2012年に設立。2013年の世界農業遺産認定後は、それを活用した地域づくりに取り組む。
- 地下水路(貫)、ため池、クヌギ林を活かしたウオーキングコースを2013年の秋に開設。参加者には地元食材を使った炊き込みご飯や猪汁でおもてなし。
- 全国的に有名な「とみくじマラソン」に合わせた案山子コンクールの開催。旧大恩小学校舎に、昔の農耕具や生活用品を展示した「農村博物館」にも注目。

活動成果

- クヌギ林とため池の循環システムをアピールする中で、長い間水との闘いを続けてきた先人たちの思いや知恵を学ぶ取組につながった。
- 地域外からも多くの人が各種イベントに参加され、交流人口の増加と観光振興に寄与している。
- 多くの小・中学校で、クヌギ林やため池の見学、しいたけのコマうちなどの体験学習に活用されている。

せんちょうむた
千町無田資源保全組合

高原の美しい田園風景を後世に



クリムソクローバーの開花状況



農道・水路の草刈り



水仙の開花状況

取組概要

- 平成19年、農業者をはじめ、地区の自治会、老人会、子供会、消防団、土地改良区等地域ぐるみで農業資源や環境の保全を目的に設立。
- 農道や水路の草刈り・清掃や、花の植栽などを地域全体で取り組むことにより、美しい農村を維持。
- 阿蘇・くじゅう国立公園内の美しい自然を背景に、農道沿いに四季折々の花を植栽。菜の花、水仙、クリムソクローバーなど観光客に人気の場所。

活動成果

- 沼地からの開拓地であり、先人たちの努力に感謝しながら、良好な農道・水路等の維持管理や環境の保全がなされている。
- 美しい景観形成への取組について、地域住民・団体の理解と協力のもと、手入れの行き届いた活動となっている。
- 農道脇の除草、花の植栽により、美しい景観を楽しんでいただくとともに、地域みんなで作業することによって地区のコミュニティが図られている。

千町無田資源保全組合

大分県玖珠郡九重町大字田野2415番地576 Tel :0973-79-2804

とくしげこうばいえん
有限会社 徳重紅梅園

無農薬生産、無添加加工品を消費者へ直販



特上の実をつける樹齢50年の梅の木



畑に散布する堆肥(10aあたり5トン以上)



大根占生産組合の発足式

取組概要

- 昭和37年、有機肥料主体で梅栽培を開始。その後昭和48年から加工・販売を始め、生協や農協等を通じて梅干の販売を拡大。
- 鹿児島県大根占町の梅の生産者と連携して有機栽培を広めるほか、地区の活動として有機農業実践農場も開設し実習・指導。
- 健康・アレルギー対策として、梅肉エキスも開発。また、水源地の環境や生き物の保全のための活動にも取り組む。

活動成果

- 有機栽培の健康食品として、テレビ等に取り上げられるなど、全国の顧客から高い評価を受けている。
- 大根占町の農業者の有機梅生産が定着し、平成25年に同町で生産者組合が発足している。
- 梅干加工品の発送する商品の緩衝材として、自家生産の有機野菜を同封することで、有機栽培の良さを全国に発信している。

有限会社 徳重紅梅園

宮崎県都城市平塚町9825番地

Tel :0986-22-6325 Fax :0986-22-2809

ざいこうじ

財光寺農業小学校

さあ、広げよう 農業小学校



毎登校日での朝礼



植え方の指導



被災地に届けるタマネギの収穫

取組概要

- 地域の農業経験者や退職者が中心となり、体験・実践型の食育を企画し、地域の子どもたちに自ら土に触れ汗を流し収穫の喜びを実感させるため、平成21年に開校。
- 農業への感謝の気持ちを養うため、入校条件は、①収穫野菜をご先祖に供えること、②苦手な野菜を育てること、と設定。また、シニア世代も対象にし、交流の場として盛況。
- 小学校のバザーや駅前市などで、子どもたちは、配る・売る喜びを体感。

活動成果

- 小学生のほか、シニア世代も対象としたことから、世代間の交流の場や高齢者の生き甲斐の場となっており、同時に、モデル地区として、他地区での開校の動きにつながっている。
- 季節ごとに多品種の栽培を指導し、苦手意識を解消させると共に、農家の苦労と食物の尊さを体感させている。
- 東日本大震災、熊本地震の被災地に、収穫したタマネギを送り励ますなど、情操教育の場としている。

財光寺農業小学校(日向市役所農業畜産課)

宮崎県日向市本町10番5号

Tel :0982-52-2111

Fax :0982-52-0250

か さ ぎ

笠 祇 地 区

笠祇の元気な里づくり



笠祇神社から見た全景



焼き肉フェスティバルin笠祇



てすべおどりの継承

取組概要

- 笠祇地区は、自治会を中心に笠祇クラブ、農地利用協議会等が連携して開催した「焼き肉フェスティバルin笠祇」をきっかけに、地域おこしを推進。
- 地元小学生を対象とし、もち米やそばの農業体験や、地元に古くから伝わる伝統芸能「てすべおどり」を小学生用にアレンジして継承。
- 平成24年には、かさぎ農地利用協議会を設立し集落営農を確立。伝統の野焼きを継続し、こみかんやしょうが、山菜等の産地化や6次化を推進。

活動成果

- 「焼き肉フェスティバルin笠祇」には毎年多くの参加者・リピーターがあり、「和牛の里笠祇」のイメージが定着している。
- 農業体験や伝統芸能継承（発表会や老人ホームでの披露など）が、交流人口の増加はもとより、子どもたちの豊かな感性の醸成につながっている。
- 地域資源の再発掘・活用や、伝統の野焼きなどの継続的、一体的な取組が、生物多様性などの環境保全につながっている。

笠祇地区（串間市役所）

宮崎県串間市大字西方5550番地

Tel :0987-72-1111

Fax :0987-72-6727

しきさい
四季彩のむら

昭和30年代の風景が残る、彩りあふれる里山



美しい農村風景と田んぼアート



稲刈体験後の様子



むらコンで田植で交流中

取組概要

- 平成13年、町の「四季彩のむら整備事業」を活用し、地権者12名で「四季彩むら」を設立、昭和30年代の農村風景を残すことをコンセプトにむらづくり。
- 石積みの棚田で稲やそばを作付け、農村景観や自然環境保全に取り組み、地域住民や来訪者に環境学習と安らぎの場を提供。
- 四季折々の景色を楽しむとともに、「むらコン」「彩りリレーマラソン」「田んぼアート」などのイベントを開催。

活動成果

- 来訪者の増加により、「高鍋湿原」の見学者や総合交流ターミナル施設の利用者が増加するなど相乗効果が出ている。
- 美しい農村風景を背景に、農業体験を通じた交流を始め、むらの散策、川上神社への参拝、高鍋温泉めいりんの湯などのコースが人気となっている。
- 四季彩のむらを基点に老若男女問わないイベントの開催が、周辺地域の活性化につながっている。

四季彩のむら

宮崎県児湯郡高鍋町大字上江8437番地

Tel :0983-26-2021

Fax :0983-23-6303

そめがおか

染ヶ岡地区環境保全協議会

きゃべつ畑のひまわり祭り



きゃべつ畑のひまわり風景



上空から見たひまわり迷路



メインストリートを歩く来訪者たち

取組概要

- 農地・水・環境保全向上対策に取り組むため、平成21年、農業者、自治会、消防団等で協議会を設立。
- きゃべつ、白菜の産地であり、口蹄疫の発生で堆肥の持ち出しができず、緑肥として活用していたひまわりに着目し、地域全体で植栽、現在は80ha規模に。
- 8月には「きゃべつ畑のひまわり祭り」を開催。女性農業者や町内団体等も活動も盛んとなり、婚活イベントやバーベキュー等で賑わう。

活動成果

- 農地・水等の保全是もとより、ひまわりは景観だけではなく、土壌対策にもなり、きゃべつの連作障害がなくなっている。
- ひまわりの植栽面積が80ha(1,100万本)と大幅に増加し、地域が一体となった取り組みになっており、子どもたちにも大人気。
- インターネットでも情報を発信し、全国から来訪者が増加し、町、商工会、観光協会等各種団体も参画し、町を挙げたイベントに定着している。

染ヶ岡地区環境保全協議会(高鍋町産業振興課)

宮崎県児湯郡高鍋町大字上江8437番地

Tel :0983-26-2021

Fax :0983-23-6303

チームがはは

《でけたよ～！浜うどん》



小学校で「浜うどん」の出前授業



特定健診受診者へ振るまう



宮崎ブーゲンビリア空港で販売

取組概要

- 平成22年の口蹄疫発生を背景に地域経済の復活を目指し、町内のJA・漁協・商工会の女性部や異業種団体の女性を中心に組織化。
- 毎年開催されていた「東児湯鍋合戦2010」に参戦、魚を練り込んだ麺の改良で2011年には優勝。その後、地元食材をふんだんに用いながら、シイラを使った「浜うどん」が誕生。
- 町内の小中学校での調理実習や学校給食のほか、高齢者施設等へも提供。

活動成果

- 「東児湯鍋合戦2011」の優勝を機に「浜うどん」を郷土食としてPRし、県民にアピール・認知を得て、現在は約1千食まで伸びている。
- 川南名物「シイラ」の地産地消の推進につながり、乳性カルシウムを加えることで、栄養価の高い麺になった。
- 学校給食の利用や離乳食への活用、高齢者施設での利用、地元飲食店のメニューや直売所での販売、ふるさと納税の商品としても販売にも至っている。

チームがはは

宮崎県児湯郡川南町大字川南13680番地1 Tel :0983-27-8014 Fax :0983-27-5879

たかちほちょう

高千穂町農産物加工連携会議(T-キッチン)

T-キッチン



連携会議の会合



ふるさと便の発送作業



イベントに出店

取組概要

- 高千穂町内で生産される夏秋野菜（キュウリ・トマト）、果樹（栗・きんかん・ゆず）、工芸作物（茶・葉たばこ）の産地ブランド化と加工の一体化と経営強化のため、平成24年にT-キッチンを設置。
- 4つの加工グループの手作り加工品の詰め合わせを販売。イベント等にも積極的に出店。
- 特に、世代間のつながりや交流を図るため、「食のコミュニティ」と銘打ったイベントを開催し、食の魅力を発信。

活動成果

- 町内の加工グループは、個人経営の加入が多かったが、本会の設置により研修や加工品の開発、ふるさと便などの販売活動において連携強化が図られた。
- 地元農産物や加工品のPR活動の中で、新たに起業したり、新商品を開発したり、町内加工グループの意識向上につながった。
- 世代間における食の伝承や、町内の関係者の協力体制が強化され、生産者と消費者の交流が活発となった。

高千穂町農産物加工連携会議(T-キッチン)

宮崎県西臼杵郡高千穂町大字向山1232番地

Tel :0982-83-0808 Fax :0982-83-0809

たかちほ
高千穂ムラたび協議会

限界集落が挑戦する 未来のムラづくり



エコミュージアム施設で食事を提供



あまざけ等の原料栽培で景観保全



あまざけやどぶろくの生産

取組概要

- 若者を中心とした事業体制、製薬会社等専門機関との連携など体制を整え、あまざけやどぶろくを生産。
- 川のりやはちみつなど希少食材を前面に、この集落でしか味わえない料理を農家民宿や古民家食堂で提供。
- 棚田など山間地特有の農業景観、秋元神社等神話史跡を活かしたエコミュージアムを展開。

活動成果

- 直売所、加工品、農家民宿等の事業収益は約8百万円から約3千4百万円と約4倍増加(H23-27)。
- 農家民宿等の訪問者は約5百人から約2千人と約4倍増加(H23-27)。
- 年間3万人を超える交流人口を創出、近年、アジアやヨーロッパからも訪問。

高千穂ムラたび協議会

宮崎県西臼杵郡高千穂町向山6604

Tel :0982-72-7226

Fax :0982-82-2283

ご か せ

特定非営利活動法人 五ヶ瀬自然学校

日本一の清流五ヶ瀬川上流で行う持続可能な村づくり



五ヶ瀬風の子自然学校の田植え



「四億年の大地」のお米



益城町でカボチャの作業支援

取組概要

- 五ヶ瀬自然学校は、町内の若手を中心の組織で、五ヶ瀬町及び周辺地域で、自然、資源、人を最大限に生かした地域づくりを行うため、平成17年に設立。熊本地震支援活動にも取り組む。
- 鞍岡小学校の児童を対象に、農作業や自然体験。さらに周辺地域を対象に、五ヶ瀬山学校子ども探検隊活動や防災教育を、年間を通して実践。
- 当地で特別栽培の美味しい米を「四億年の大地」というブランド名で直売。

活動成果

- 自然学校の活動により、鞍岡小学校の児童は30名前後で維持されているとともに、当地出身の大学生が応援。被災地支援では、40トンの支援物資を配送、約700人のボランティアも派遣できた。
- 五ヶ瀬川流域の教育委員会と連携し、チラシ等でPR。自然体験の申込みが増加し、実施回数を増やして対応している。
- 9トン程度の安定したブランド米を販売し、後継者が帰ってきた。これに委託する高齢農家の動きも出てきている。

特定非営利活動法人 五ヶ瀬自然学校

宮崎県西臼杵郡五ヶ瀬町大字鞍岡6452乙

Tel :0982-73-6366

Fax : 同左

特定非営利活動法人 鹿児島県有機農業協会

「畑の学校」



苗の植え付け作業



生き物調査



フェスタへの参加、広報活動

取組概要

- 鹿児島県有機農業協会は、有機JAS認定に関する業務を行う登録認定機関であり、有機農業の推進はもとより、食の安全、環境の保全等のため、1999年に設立(会員数436名)。
- 市内在住の家族を対象に、「畑」を「学校」として開校。有機農業を楽しみながら、土作り、種まき・苗植え等の野菜作りや生き物講座、料理教室等を実施。
- オーガニックフェスタへ参加しパネル展示や、HP・フェイスブック等で発信。

活動成果

- 有機農業を体験できる場を提供することによって、参加者の食と農に対する理解が深まっている。
- 初めて野菜を栽培する家族も多く、子どもの積極性の醸成や、参加者間の交流や協力体制ができて来ている。
- HPやフェイスブックにおける活動紹介やフェスタの活動報告により、広く住民に周知でき、都市農業に関する賛同意見等が多く寄せられている。

特定非営利活動法人 鹿児島県有機農業協会

鹿児島県鹿児島市西田2-11-8明日ビル2階 Tel :099-258-3374 Fax :099-258-2204

おりた

折多校区の自然を守る会

支えあう みんなの気持ちが 折多の力



小学校と連携し、稲刈り体験



農地・水路の保全活動



福島被災地への支援(餅米栽培・発送)

取組概要

- 農業者・自治会・土地改良区・JA・折多小学校等で構成し、農地・水路・農道等の保全活動と、小学校の農業体験を主な目的として、平成19年に設立。
- 農地・水路の法面等の草刈り、水路の泥上げ、路面の補修や清掃活動を、農業者・自治会等で定期的実施。
- 折多小学校・PTAと連携し児童・保護者との農業体験や、障害者福祉施設等と一緒にの蕎麦づくりを実践。さらに福島の被災地と継続的に交流。

活動成果

- 自治会を始め小学校等と一緒に清掃活動や美化活動に取り組んだことにより、地域が一体となった活動となった。
- 農業体験により農業の大切さを実感するとともに、農村の景観や環境を守るための地域ボランティアに向けた意識向上が図られた。
- 子どもたちの提案で、被災地の小学校に毎年餅米を寄贈するなど、災害に対する心構えや地域防災意識も高まっている。

折多校区の自然を守る会

鹿児島県阿久根市多田2121番地1

Tel :0996-72-2818

Fax : 同左

さつまさんだいし

薩摩川内市グリーン・ツーリズム推進協議会

地域資源を活用した3カアップへの取り組み ～「実」力・「味」力・「me」力アップ～



教育旅行の受入



食の研修会



民泊受入マニュアル

取組概要

- 本協議会は修学旅行生を対象に農家民泊の受入を行うために組織化。一般旅行者やインバウンドの受入も視野に農家民泊資格取得の増加や新たな体験プログラムを開発。
- 農家の現状を分析するとともに、民泊受入マニュアルを作成、受入スキルの向上とホームページで活動を発信。
- 郷土料理や地元産品を活用するため、オリジナルレシピを開発し料理実習会を開催。

活動成果

- 本協議会の受入状況の分析と体験メニューの精査を行い、受入マニュアル作成により、安全安心な民泊受入が実践されている。
- ホームページを活用、多言語化、活動の動画配信などにより、海外からの教育旅行の受入も可能となった。
- オリジナルレシピを受入の際に提供し、好評を得ている。新規会員の増加につながっている。

薩摩川内市グリーン・ツーリズム推進協議会(薩摩川内市 観光・シティセールス課)
鹿児島県薩摩川内市神田町3番22号 Tel :0996-23-5111 Fax :0996-25-1704

かれいがわ
佳例川地区自治公民館

百年の眠りから覚めた幻のサツマ芋「蔓無源氏(つるなしげんじ)」



展示会及び商談会の出展様子



ブランド焼酎「蔓無源氏」



復活した「お田植え祭り」

取組概要

- 平成7年、地区の有志によって前身の「佳例川を語る会」が発足。お田植え祭をはじめ、希少芋の「蔓無源氏」を復活。それを原料として、焼酎「佳例川源流米」を当地区自治公民館が販売。
- 明治・大正時代に栽培されていた芋を3年かけて復活。地元酒造メーカーと連携したプライベートブランド焼酎「蔓無源氏」を自前の直売所で販売。
- 菱田川の源流水による「佳例川源流米」を全面に、交流イベントが盛況。

活動成果

- 平成27年のイタリアミラノ博に「佳例川源流米」を展示するとともに、希少芋「蔓無源氏」の生産拡大により荒廃農地も減少している。
- 直売所「かれがあの焼酎屋」は地区の情報発信の拠点施設となっており、地域住民が一体となった情報発信・PRにつながっている。
- 地元企業・鹿児島大学と連携した交流イベント(お田植え祭、新米ウオーキング等)に地域内外から大勢訪れている。

はぎもとまえだんち

萩元前団地環境保全会

「農」を守る語らいの輪



「秋あげ」でお餅のおもてなし



親子による田植え風景



復活した棒踊り

取組概要

- 平成18年中山間地域等直接支払を機に活動をスタート。平成26年地元の小学校等と連携して本保全会を設立。
- 農地・水路の法面等の草刈りのほか、地域全体の活動を目指し、休耕田を学校田として活用。親子での農業体験や給食等で食の大切さ、源氏木タルの保全などを体感させている。
- 稲刈後の「田の神子供相撲」や「秋上げ（あつきやげ）」のお餅イベント・伝統芸能などが盛況。

活動成果

- 伝統的な「農」を守りながら、4つの宝（子ども、農家の知恵経験、郷土芸能、自然）のネットワークの構築により、地域コミュニティの形成につながっている。
- 農業体験や給食への提供等により、住民の農業に対する理解を得るとともに、ふるさと納税品となった「黎明米」が人気を博している。
- 秋上げの開催を機に、伝統芸能「棒踊り、相撲取節」などが復活し、子供から高齢者まで活気づいている。

萩元前団地環境保全会（いちき串木野市役所 農政課）

鹿児島県いちき串木野市昭和通133-1 Tel :0996-33-5636 Fax : 0996-32-3124

特定非営利活動法人 エコ・リンク・アソシエーション

アートプロジェクトと農家民泊事業ならおまかせ



農家民泊：昼食の様子



かぼちゃの後片付け



花渡川アートプロジェクト

取組概要

- 平成13年、アートプロジェクトの活動に加え、中高生の修学旅行を対象に農家民泊事業をかごしまグリーン・ツーリズム協議会（関係19市町で構成）と連携。
- 農業や自然環境のすばらしさを知って心に残る旅とするため、受入先では女性や高齢者の参画、地産地消を柱において推進している。
- アートプロジェクトでは、テーマ「水」を中心に展覧会等を行い、世界に向けて情報発信。

活動成果

- 農家民泊事業を収益事業として取り組み、現在県内約1000軒の農家で受入体制が整っている。
- 首都圏の中・高校生の修学旅行を主な対象とした受入を行っており、受入者も年間1万5千人を超えている。
- 相乗効果で、地元住民も製作に参加した「万の瀬川、花渡川、木口屋、屋久島」アートプロジェクトなどが実現し、高い評価を受けている。

特定非営利活動法人 エコ・リンク・アソシエーション

鹿児島県南さつま市加世田本町53-6

Tel :0993-53-7270 Fax :0993-76-0022

たべた
田部田をまもり隊

田んぼアート “芸術は、大変だー”



60aに田んぼアート(2012)



田植え風景



田んぼアート(2015)

取組概要

- 平成19年、九つの自治会が地区内の関係団体と連携して設立。自治会ごとに年3回の農道清掃や水利組合の草刈り・泥上げ、景観作物を作付。
- 平成24年から、農事組合法人が中心となって、田んぼアートを実施。60aの水田をキャンパスに子供から大人まで参加し植え付け。
- 見学できるように、高台に足場やぐらを設置。10月中下旬には子供たちの収穫体験も実施。

活動成果

- 「農事組合法人たべた」を中心に、地元住民、幼稚園、子供会の協力で2日間にわたって植え付け。年々参加・協力が増えている。
- 毎年、田んぼアートの絵柄が違うので、それぞれの役割分担、協力が不可欠であり、地区の一体感が醸成されている。
- 平成28年には、田んぼアート全国サミットを開催するに至っています。

田部田をまもり隊

鹿児島県南九州市川辺町田部田3034-1

Tel :0993-56-4653

な かつ が わ く

中津川区むらづくり委員会

まだまだ、道半ば……。伝統を引き継ぐ“中津川の底力！”



大祭の様子



士気を鼓舞する宴の踊り:兵児踊り



日曜朝市と、焼酎「金吾さあ」

取組概要

- 5つの公民会から成る中津川区むらづくり委員会は平成7年に設立。農作業受託の話し合いの中、伝統芸能の継承や芋焼酎を目標にむらづくりに取り組む。
- 「金吾さあ」の名で親しまれた島津歳久の「金吾様踊り」を400以上にわたり継承し、集落ごとの多彩な踊りが奉納。伝統の大念仏踊りの「地割舞い」等も復活。
- 遊休農地を活用しサつま芋を栽培し地域独自の焼酎「金吾さあ」製造販売。「なかつこ日曜朝市」も好評。

活動成果

- 大石神社秋季大祭で奉納される「金吾様踊り」の取り組みにより、地区が一つにまとまるとともに、内外から訪れる多くの観光客で賑わっている。
- 焼酎「金吾さあ」も、年々製造量が増加し、平成26年には1000本を超えている。
- 「なかつこ日曜朝市」も地元に着定しており、販売高も年々増加しており、また消費者との交流の場や、高齢者のサロンとしての場にもなっている。

中津川区むらづくり委員会(さつま町役場内)
鹿児島県薩摩郡さつま町宮之城屋地1565-2

Tel :0996-53-1111

Fax :0996-52-3514

やくしま みやのうら

株式会社 屋久島宮之浦加工グループ

世界自然遺産の島のこだわりを食卓へ



イベントでの出展



加工作業の様子



パッケージ販売「森のごちそう」

取組概要

- 昭和53年果樹同好会婦人部から、昭和58年宮之浦生活改善グループになり自家用ミカンジュース等に取り組む。平成7年缶詰等の営業許可を取得。平成26年に法人化。
- 地元特産のさば節を使っためんつゆや、ポンカン・タンカンのジュース等の加工に取り組むとともに、屋久島の軟水を使ったジャム等を製造。
- タンカンのジュース・ドレッシング・みそは学校給食に提供。島内外の中・高校生を対象に加工体験など食育も推進。

活動成果

- 「屋久島にこだわった手作りの味を届けたい」の商品作りが高く評価されており、18種類の商品を開発。売上も1300万円程度まで伸びている。
- 島内約20店舗、島外約10店舗のデパート等で販売。平成28年にはJA鹿児島のギフト商品として取引されている。
- 屋久島の農村女性起業として初めて営業許可を取得し、法人化したことが、他の女性加工グループの起業に波及している。

株式会社 屋久島宮之浦加工グループ
鹿児島県熊毛郡屋久島町宮之浦2204-4

Tel :0997-42-0549

やくしま
有限会社 キャンoppi屋久島

縄文杉だけが魅力か？里のすごさも見てくれ



キャンピーウオーク:地上高目線10m



樹上空中回廊の入口:太平洋を望む



インバウンドの強化

取組概要

- 屋久島の森や縄文杉で観光客が訪れるが、豊富にある麓の照葉樹林を鳥目線で眺めてもらうための取組を開始。
- 2009年、根を踏まないで環境に優しい空中回廊150m区間「梢回廊キャンoppi」を設置。以後、樹木を楽しむ三層の空中回廊300mを設置し体験を開始し、体験者は1万人を超える。
- さらに、台湾を主な対象に、現地旅行者へのコンセプトの説明を行うなど、インバウンド誘致にも取り組む。

活動成果

- 屋久島の里にも麓にも魅力的な自然が沢山あり、これを楽しんでもらう回廊が理解されてきている。
- 回廊への取組が、山岳部への一極集中の観光が緩和され、森林環境の保全につながっている。
- インバウンドの誘致において、ワーキングホリデー制度を活用したサポートスタッフが機能。さらに子供の冒険心や鳥瞰的目線を育て、教育的役割も視野に入れている。

有限会社 キャンoppi屋久島

鹿児島県熊毛郡屋久島町原677-44

Tel :0997-49-3232

Fax : 同左

喜界町生活研究グループ連絡協議会・ 合同会社 喜界島 結い

キラリと輝く島の食の継承としま興し



生産量日本一の白ごまの加工品



喜界島産トマトの加工風景



小学校で食の伝承講座

取組概要

- 町内の6つの女性グループ(構成員数48名)で、食文化の伝承や交流活動等の推進のため、本連絡協議会を昭和52年に設立。また、商品開発や加工・販売を行う結いグループ「喜界」を平成15年に設立、平成27年に「合同会社喜界島結い」として法人化し、両者が連携。
- 協議会は、町内小学校で「食の伝承講座」の開催や農業体験で食育を推進。
- 結いは、喜界島農産物を使った各種加工品(島ごまドレッシングほか)を販売、6次化や交流にも力を入れている。

活動成果

- 連絡協議会の活動により、食の伝承はもとより、地場産物を活用した料理作り等が浸透してきている。
- 結いは、地場産物を使った加工品の開発、販売により、経済活動としての自立、雇用の促進に大きな成果をあげている。
- 両者の連携した取組により、6月の「しま興し祭り」での出展やPR。さらには首都圏の百貨店への出展、販売などを通じ、喜界島の魅力を発信している。

喜界町生活研究グループ連絡協議会・合同会社 喜界島 結い
鹿児島県大島郡喜界町湾1298番地

Tel :0997-65-0958

Fax : 同左